

堺市の生物多様性保全上

考慮すべき野生生物

堺市レッドリスト 2021・

堺市外来種アラートリスト 2021

ガイドブック



目次

1. はじめに	1
2. 生物多様性ってどうして大切？	2
3. 堺市の自然	4
4. 堺市レッドリスト 2021	6
■ レッドリストの動物	7
■ レッドリストの植物・菌類	8
■ 私たちにできること～守るために～	9
■ 身の回りで見つけてみよう	9
■ 要注目生態系	10
5. 堺市外来種アラートリスト 2021	11
■ 外来種アラートリストの動物	12
■ 外来種アラートリストの植物	13
■ 私たちにできること～増やさないために～	14
■ 身の回りで見つけてみよう	14
6. 堺市の取り組み	15

堺市レッドリスト 2021 掲載種一覧

堺市外来種アラートリスト 2021 掲載種一覧

SDGs と堺市レッドリスト・堺市外来種アラートリストとの関わり

持続可能な開発目標 (SDGs) とは、よりよい世界をつくるため、2015 年の国連サミットで採択された 17 の目標です。すべての人がそれぞれの立場から、目標を達成するために行動することが求められていて、2030 年までの目標達成をめざしています。

堺市レッドリスト・堺市外来種アラートリストの作成・活用は、17 の目標のうち、主に「15 陸の豊かさを守ろう」「17 パートナリーシップで目標を達成しよう」に貢献するものです。



表紙の写真：

右上から キキョウ (A ランク)、ベニイトトンボ (A ランク)、ホテイアオイ (外来種アラートリスト要注意種)、シュレーゲルアオガエル (B ランク)、キマダラセセリ (C ランク) 中央 ヒメタマゴマイマイ (情報不足)
左上から キンラン (A ランク)、サンショウクイ (B ランク)

裏表紙の写真：トノサマガエル (B ランク)

注) 赤字はレッドリスト掲載種、青字は外来種アラートリスト掲載種を示します。

1. はじめに

◆堺市レッドリスト 2021・堺市外来種アラートリスト 2021 とは

堺市レッドリストとは？

堺市レッドリストとは、堺市で生息・生育する場所を失ったり、数が少なくなったりして、絶滅の危機にさらされている生き物を、絶滅の危険度によってランクづけしたリストのことです。

何のために作るの？

生物多様性を守るために、どのような場所にくらしている、どのような生き物が絶滅しそうになっているのかを知って、これらの生き物がこれ以上危険な状態にならないようにするためにどうすればよいか、考えてもらうために作ります。

堺市外来種アラートリストとは？

堺市外来種アラートリストとは、よその地域から人の手によって持ちこまれた生き物（外来種）のうち、野外で増えて、堺市の自然や生き物に大きな影響をあたえる生き物を、影響の大きさや、堺市への侵入の程度によってランクづけしたリストのことです。

何のために作るの？

外来種による生物多様性への被害を防ぐため、どのような生き物が地域の自然や生き物に大きな影響をあたえるのかを知ることで、これらの生き物を放したり、捨てたりしないよう注意してもらうために作ります。

◆堺市レッドリスト 2021・堺市外来種アラートリスト 2021 ができました！

堺市では、2008年に「堺市レッドリスト」を作成しました。

堺市の自然や生き物をとりまく状況は年々変わっていくため、2015年に見直しを行い、「堺市レッドリスト2015」「堺市外来種ブラックリスト2015」を作成しました。

さらに今回、これら2つのリストの見直しを行うため、15名の専門の先生方に2年間かけて話し合っただき、「堺市レッドリスト2021」「堺市外来種アラートリスト2021」ができあがりました。今回の見直しで、「堺市外来種ブラックリスト」から「堺市外来種アラートリスト」に名称を変更しています。

堺市では、この2つのリストを使って、皆さんに堺市の自然と生き物について知ってもらい、絶滅の危機にある生き物を守る活動や、外来種への対策活動につなげていきたいと考えています。

今回の見直しの結果、
堺市にいたることがわかりました！



マダラコガシラミズムシ
(新規Aランク)



オオムラサキ
(新規Aランク)



シノブ
(絶滅→Aランク)



↑専門の先生方に何度も
話し合っていました

どんな生き物があるかな？→
調査中です



せいぶつ た ようせい 2. 生物多様性ってどうして大切？

◆生き物を守ること、自然を守ることって どうして大切なんだろう？



地球上にはたくさんの生き物がいて、お互いに ^{たが}あみ網の目のようにつながりあって生きています。食べたり、食べられたり、同じものをえさにして競争したり、助け合ったり、^{ふん}糞や死んだ生き物を食べて細かくしたり…。いろいろな生き物がいること、それらの生き物たちがお互いに関わりあいながら、さまざまな場所で生活していることを、「生物多様性」といいます。これは地球の上で長い時間をかけて作られてきた、とても複雑な「命のつながり」です。

◆「生物多様性」には、次の3つの種類があります

せいいたいけい 生態系の多様性

さまざまなタイプの自然があることをいいます。山や川、森、草原、町に海…いろいろな場所で生き物たちがくらしています。



さまざまなタイプの自然があると、それに合わせてさまざまな生き物が生きていくことができます。

さまざまな種類の生き物がいると、例えばある生き物がいなくなっても、他の生き物は別の^{たよ}つながりを頼りに生きていくことができます。

しゅ 種の多様性

さまざまな種類の生き物があることをいいます。地球上には、1000万種とも3000万種ともいわれる生き物たちがくらしています。



いでんし 遺伝子の多様性

同じ種類の生き物でも、^{ちが}遺伝子に違いがあることをいいます。遺伝子が違うと、形や模様、大きさなど、さまざまな個性が生まれます。



すべてナミテントウ

いろいろな性質の個体が生まれるので、^{かんきょう}環境に変化があったとき、生き残れるものがある可能性が高くなります。

◆ 「生物多様性」と私たちの暮らし

人間が生きていくのに必要なものは何でしょう。

食べ物や住むところ、あたたかい服…。野菜や果物、お米、お肉にお魚、私たちの食べ物は、みんなもともとは生き物ですね。家の材料や燃料になる木材は、木を切ったもの。衣服は植物の繊維からできています。空気に含まれる酸素は、植物が生み出しています。植物を育てる豊かな土は、土の中の小さな生き物たちの働きでできています。樹林には、地面にしっかり根を張って、土砂崩れや洪水を防いでくれる働きもあります。

こんなふうに、私たちの暮らしは「生物多様性の恵み」（生態系サービス）に支えられて成り立っています。山の中でキャンプをしたり、海で泳いだり、自然の中で遊ぶ楽しさも、「生物多様性の恵み」といえますね。



◆ 「生物多様性」がこわれてしまったら？

今、たくさんの生き物が絶滅したり、絶滅しそうになったりしています。どうしてでしょうか。

- ①人間が家や工場、畑などを作るために自然をこわしたり、食べ物やペットとしてたくさん捕まえたりする。
- ②林や畑の手入れをする人が減って、山や野が荒れる。
- ③よその場所から入ってきた「外来種」が、生き物同士のバランスを崩してしまう。
- ④地球温暖化などで環境が変わって、生きていけなくなる。

このようなことが原因だといわれています。



網の目のようにつながる生き物の一つが消えれば、つながりあっている生き物たちすべてに何らかの影響がおよびます。同じことが続けば、いつか取り返しのつかないことになるかもしれません。

私たちが受けている「生物多様性の恵み」もなくなってしまうかもしれないのです。

私たち人間は、生き物とのつながりの中で生きています。

人間が生きていくのになくてはならない空気や水、食べ物は、生き物がいてこそ生み出されるもの。そして生き物は、環境や種類が多様でなければ、その複雑なつながりやバランスを保てないのです。生き物を守ること、自然を守ることは、私たちの暮らしや豊かな未来を守ることなんです。

3. 堺市の自然

沿岸・河口

古くは「茅渟ちぬの海」と呼ばれ、たくさんの魚がとられてきた大阪湾。クロダイ（チヌ）をはじめ、カタクチイワシやエビ・カニなどいろいろな生き物がいます。

主な生き物：ニホンウナギ、ヤマトシジミ（貝類）



海岸

堺市の海岸は人が埋め立てたところが多く、自然の砂浜すなはまや干潟ひがたはほとんどありません。最近では、生き物のくらす干潟はまや浜辺へを再生する活動が行われています。

主な生き物：チュウヒ、ジュウサンホシテントウ、ハマサジ



河川

大和川やまとがわと石津川いしづがわの2つの大きな川と、多くの小さな川があります。洪水を防ぐため、コンクリートの岸をもつ川が多いですが、生き物呼び戻す川づくりもども行われています。

主な生き物：メガネサナエ、カワヂシャ、オオクチバス



古墳・神社やお寺・公園

世界遺産でもあるたくさんの古墳こふんや、神社やお寺の森、いろいろな大きさの公園は、緑の少ない市街地せいがつたの中で、生物多様性ようせいを支える大事な環境かんきようです。

主な生き物：ムラサキツバメ、マツヘリカメムシ



ため池

堺市には600か所以上のため池があり、水辺の植物や水の中にすむ動物、それをえさにする鳥などの大切な生育・生息場所になっています。流れの速い川ちがとは違う生き物がいます。

主な生き物：オニバス、ミシシippアカミミガメ、ウシガエル



畑・田んぼ

畑や田んぼのうこうちの農耕地では、田んぼの横の用水路やあぜなどの草地にも多くの生き物がくらしています。最近、市街地が広がり、農耕地が減っていることが心配されています。

主な生き物：コウベモグラ、ケリ、アキアカネ、ワレモコウ





さとち さとやま
里地里山

山奥と都会の間、畑や田んぼ、集落、人が手入れをしてきた山林などを里地里山きゅうりょうちといいます。堺市の南部の丘陵地は、堺市の中でも特に生物多様性の豊かな場所です。

主な生き物：ヤマトサンショウウオ、サワガニ、ヘイケボタル



注) 赤字はレッドリスト掲載種、青字は外来種アラートリスト掲載種を示します。

4. 堺市レッドリスト 2021

どんな生き物を選んでいるの？

カテゴリー	説明
ぜつめつ 絶滅	昔は堺市にいたが、今はいないと考えられる種。
A ランク	堺市にいる数が急に減ってきたか、堺市にほとんどいなくなってしまう種で、大阪府や全国でも減ってきている種。このままの状態では生き残っていくことが難しい種。堺市にいなくなったと思われていたが、最近見つかった種。
B ランク	A ランクほどではないが、将来、堺市や大阪府にいなくなってしまうことが心配される種。
C ランク	堺市や大阪府から今すぐいなくなることはないが、環境が変わると B ランクや A ランクになってしまうかもしれない種。堺市で減ってきている自然豊かな環境にすんでいて、守りたい環境の目安になる種。
じょうほうぶそく 情報不足	どのカテゴリーに入れればいいかを定めるための情報が少ない種で、情報があればどれかのカテゴリーに入るかもしれない種。

注) ガイドブック用にやさしい文章に書きかえています。

正式な定義は「堺市の生物多様性保全上考慮すべき野生生物 堺市レッドリスト 2021・堺市外来種アラートリスト 2021」をご覧ください。

何種類の生き物が選ばれているの？

堺市内で確認されている生き物のうち、約 12%にあたる 715 種が選ばれています。

分類	絶滅	A ランク	B ランク	C ランク	情報不足	合計
ほにゅう 哺乳類	0 種 (0 種)	0 種 (0 種)	2 種 (2 種)	4 種 (3 種)	1 種 (1 種)	7 種 (6 種)
鳥類	1 種 (1 種)	14 種 (14 種)	12 種 (8 種)	17 種 (23 種)	0 種 (2 種)	44 種 (48 種)
はちゅう 爬虫類	0 種 (0 種)	0 種 (0 種)	2 種 (1 種)	3 種 (4 種)	4 種 (3 種)	9 種 (8 種)
両生類	1 種 (1 種)	2 種 (2 種)	5 種 (4 種)	0 種 (0 種)	1 種 (2 種)	9 種 (9 種)
たんすいぎょ 淡水魚類	0 種 (0 種)	3 種 (1 種)	3 種 (6 種)	5 種 (8 種)	5 種 (4 種)	16 種 (19 種)
陸産・たんすい 淡水産貝類	1 種 (1 種)	2 種 (2 種)	5 種 (5 種)	5 種 (5 種)	3 種 (3 種)	16 種 (16 種)
こんちゅう 昆虫類	24 種 (24 種)	46 種 (43 種)	44 種 (39 種)	88 種 (82 種)	34 種 (31 種)	236 種 (219 種)
クモ類	0 種 (0 種)	0 種 (0 種)	3 種 (2 種)	2 種 (2 種)	2 種 (1 種)	7 種 (5 種)
陸産・たんすい 淡水産甲殻類	0 種 (0 種)	0 種 (0 種)	0 種 (0 種)	3 種 (2 種)	1 種 (1 種)	4 種 (3 種)
海岸生物	38 種 (-)	2 種 (-)	0 種 (-)	3 種 (-)	0 種 (-)	43 種 (-)
いかんそく 維管束植物	42 種 (47 種)	79 種 (68 種)	39 種 (44 種)	108 種 (105 種)	13 種 (16 種)	281 種 (280 種)
せんたい 蘚苔類	0 種 (0 種)	6 種 (6 種)	3 種 (2 種)	6 種 (5 種)	0 種 (0 種)	15 種 (13 種)
たんすいそう 淡水藻類	0 種 (0 種)	3 種 (3 種)	1 種 (1 種)	0 種 (0 種)	0 種 (0 種)	4 種 (4 種)
きん 菌類	0 種 (0 種)	2 種 (3 種)	3 種 (2 種)	12 種 (10 種)	7 種 (8 種)	24 種 (23 種)

注 1) 哺乳類：イヌやネズミの仲間 鳥類：鳥の仲間 爬虫類：ヘビやカメの仲間 両生類：イモリやカエルの仲間 淡水魚類：川や池にすむ魚の仲間
陸産・淡水産貝類：陸や川・池にすむ貝の仲間 昆虫類：昆虫の仲間 クモ類：クモの仲間 陸産・淡水産甲殻類：陸や川・池にすむエビやカニの仲間
海岸生物：海にすむ貝やエビ・カニ、海藻などの仲間 維管束植物：シダや草木の仲間 蘚苔類：コケの仲間
淡水藻類：川や池に生える藻の仲間 菌類：キノコの仲間

注 2) () の中は堺市レッドリスト 2015 年版での数

■レッドリストの動物

今回のレッドリストの見直しでは、「海岸生物」が新しく対象になったため、レッドリストに載る動物は前回より大きく増えました。海岸生物では、サクラガイ、ハマグリなど 38 種が、昔は堺市にいたが今はいない「絶滅」のカテゴリーと判断されました。

哺乳類では、コウベモグラが新しく C ランクとされました。鳥類では、数が増えてきた種もいる一方で、^{のうごち}農耕地にくらすケリやセッカなどは減っているとして、より高いランクへ引き上げられました。両生類ではカジカガエルが、爬虫類ではニホンイシガメが B ランクへ引き上げられました。魚類ではランクが下げられたものがいくつかありますが、昆虫類では最近堺市で見つかったオオムラサキ、マダラコガシラミズムシ (A ランク) をはじめ、新しく追加されたものが多くありました。甲殻類ではヒラテテナガエビ (C ランク) が追加になっています。



コウベモグラ (塚)
(新規 C ランク)



セッカ
(C ランク→B ランク)



カジカガエル
(情報不足→B ランク)



ニホンイシガメ
(C ランク→B ランク)



セスジイトトンボ
(C ランク→B ランク)

メダカはメダカでも…

かつて日本中の田んぼや小川にたくさんいたメダカ。今や全国のレッドリストでも絶滅危惧種になってしまいました。そんなメダカを復活させよう！と、日本各地で人の手によってメダカが放流されました。けれど実は、メダカの種類は地域によって^{ちが}違います。他の地域のメダカが放されると、もともとその地域にいる(「在来」といいます)メダカと混ざりあい、堺市の在来メダカの^{じゆんすい}純粋な性質が失われてしまいます。

同じことがドジョウにも起きています。こちらは中国大陸から食用や釣り餌として持ちこまれた外来ドジョウが増えて、在来ドジョウと混ざることが心配されています。

堺市レッドリスト A ランクの在来メダカ、在来ドジョウを守るため、他の地域の、またお店で買ったメダカやドジョウは放さないようにしましょう。



ミナミメダカ
(A ランク)



ドジョウ
(A ランク)

夕やけこやけのアカトンボ

「夕やけこやけのアカトンボ」と童謡に歌われたアカトンボは、アキアカネだと言われ、かつて最も身近にいたトンボの一つでした。

アキアカネをはじめとするアカトンボの多くは、秋に産んだ卵が冬は休眠し、春の温かい水に触れると幼虫が^{ふか}孵化します。冬に水を落として田植えの時期に水を張る、という人間の田んぼの管理スケジュールと生活史がうまく合ったことで、アカトンボの仲間は数を増やし、田んぼでよく見られるトンボになりました。けれど最近、人間には害がなく、虫には効く農薬を使うようになり、身近にいたアカトンボは急激に数を減らしています。

レッドリストに載っている生き物の中には、アカトンボ以外にも私たちのくらしの変化が原因で絶滅危惧種になってしまった種がたくさんいます。



アキアカネ
(C ランク)

■レッドリストの植物・菌類

今回のレッドリストの見直しで、前回「絶滅」とされていた植物のうち、シノブ、オニグルミ、オカヒジギが、まだ堺市に生育していることがわかり、Aランクとされました。また、前回Bランクだったタカサゴキジノオ、オオホシクサ、ミズオトギリなどが、より絶滅の危険がせまっているとして、Aランクに引き上げられました。そのためAランクの種は大きく増えました。Bランクには、新しく見つかったヒメミズワラビが追加されました。

蘚苔類、淡水藻類、菌類では大きな変更はありませんでしたが、情報が増えたキノコ1種が情報不足からCランクへ、1種がAランクからBランクへ変更になりました。蘚苔類、淡水藻類、菌類の情報はまだまだ少なく、これからも記録を集めていかなければなりません。

リストアップされた種の中には、今のところかろうじて生きのびている状態の種も多くありました。これ以上絶滅種を増やさないよう、生育環境を守る手立てを考えていく必要があります。



ミズオトギリ
(Bランク→Aランク)



ヒメミズワラビ
(新規Bランク)



タシロン
(情報不足→Cランク)



アヤメ
(新規Cランク)



イカタケ
(情報不足→Cランク)

田んぼとともに～アゼオトギリ～

大阪府では絶滅したと思われていたアゼオトギリは、2000年代に3か所で再発見されました。堺市美原区の水田地帯はそのひとつです。

アゼオトギリは水田のあぜのような、草刈りによって維持される「低い草で覆われた環境」を好んで生える小さな植物です。地面をじっくり探さないとなかなか見つけられず、夏に咲く小さな黄色い花は午後になると閉じてしまい、なおさら見つけにくくなります。

堺市では水田が減ってきています。美原区のアゼオトギリも、以前に比べてずいぶん少なくなりました。もしも田んぼやあぜがなくなってしまうたら、アゼオトギリのような「田んぼとともに」生きる動物や植物の多くは、姿を消してしまうでしょう。



アゼオトギリ

張芝をご存知ですか？

張芝とは、公園や堤防などに芝地を作るときに、芝をマット状にして植えることです。

50年くらい前までは、この芝を中国山地などの草地から運んできて植えていました。芝の中には他の植物も混じっていて、「堺市では生育しないような珍しい植物が見つかった！」と話題になったものをよくよく調べると、張芝に混じって他の地域から運ばれてきたものだとわかることがあります。



堺市にはもともと生育しない植物なので、このような張芝由来の植物は、たとえ貴重といわれる種類でも、堺市レッドリストには選んでいません。

生き物を他の地域から人の手で移動させると、もともといた生き物に影響をあたえることがあります。目に見えて減ったり増えたりしなくても、別の種類との子孫を作るため、純粋な種がいなくなる問題も起きています。生き物を移動させる前に、どんな影響があるかを十分に考えることが大切です。

■ 私たちにできること ～守るために～

絶滅の危機にある生き物を守るために、私たちができることは何でしょうか。

それは、自然のこと、生き物のことを「知る」ことです。

- このガイドブックやウェブサイト「堺いきもの情報館」(15ページ)で堺の自然について知ろう。
- 家の近くの公園や川に出かけて、自然を感じてみよう。生き物を探してみよう。
- 動物園や植物園、博物館へ行ってみよう。

そして、できることから「行動」してみてください。

- 野外で出したごみはかならず持ち帰ろう。見つけたごみを拾おう。
- 自然観察会などのイベントに参加してみよう。
- 環境にやさしい商品を選ぼう。



■ 身の回りで見つけてみよう

絶滅しそうな生き物なんて、簡単には見つけられないもの、と知っている人もいるかもしれませんが、でも身近にたくさんいると思っていた生き物が、実は少しずつ減ってきていたり、絶滅が心配されている生き物が、よく探せば意外と私たちの近くでひっそりとくらしていたりします。

レッドリストに載っている「絶滅危惧種」を、身の回りで見つけてみましょう。

● カヤネズミ (Bランク) の巣 難易度…★★★

どんな生き物?…背丈の高い草地にくらす、日本で一番小さなネズミ。

背中はオレンジに近い明るい茶色で、お腹は白。

どんなところで探す?…河川敷などの背丈の高い草地で、草の葉を使って作られた丸い巣を探してみよう。中にカヤネズミがいるかもしれないので、見つけても壊さないようにそっとしておこう。



カヤネズミの巣



ナツアカネ



アキアカネ

● ナツアカネ (Bランク) 難易度…★★★ アキアカネ (Cランク) 難易度…★★☆

どんな生き物?…いわゆる「アカトンボ」の仲間。初夏に成虫が羽化して、夏の間山の上などで過ごした後、秋に里の水辺に戻ってくる。ナツアカネは胸の横の黒い帯のうち、真ん中の帯の先がスパッと切れている。これに対して、アキアカネの帯は先がとがって細くなることで区別できる。

どんなところで探す?…秋に田んぼやため池の周りの日当たりのよい枝先や、柵の先端によくとまっている。そっと近づいて胸の横の模様を見てみよう。

● ワレモコウ (Cランク) 難易度…★★☆

どんな生き物?…草地に生える高さ1m前後の多年草。夏～秋に花が咲く。

枝分かれする茎の先に、濃い赤色の1～2cmの楕円形の花穂をつける。

ひとつひとつの花は小さく花びらはない。

どんなところで探す?…農耕地のあぜや林の縁などの草刈りをされている日当たりのよい草地に生える。夏から秋に花を探すのが見つけやすい。



ワレモコウの花穂



いつまでも身近な生き物であるように…
どのような環境を守ればよいでしょうか。

見つけた生き物は持ち帰らないで、
その場所でよく観察するだけにしましょう。

レッドリストに載っている生き物を
見つけたら、15ページで紹介している
「堺いきもの情報館」へぜひ報告してください!

ようちゅうむくせいたいけい
■ 要注目生態系

- ①地域の自然史や文化を考えるうえで大切な生態系
 ②堺市の生物多様性を支えるうえで大切な生態系 として、次の6種類の生態系を選びました。

生態系	対象	選ばれた理由
こぶん 古墳・ 社寺林*	平野部、丘陵部の古墳、 神社やお寺の林（コジ イ林、シリブカガシ林） ただしこの100年以内に 人が植えたものはのぞく	神社やお寺の林に残るコジイ林、シリブカガシ林は、堺市で森林が成長していくと最後に行きつく形の森林です（「極相」といいます）が、今の堺市にはほとんど残っていません。森にすむ動物やキノコのすみかとなり、研究や学習の材料としても重要です。特に、林の中に下草や低木など高さの違う植物が育つコジイ林、シリブカガシ林には、いろいろな生き物がくらすことができます。 また、古墳や神社、お寺のコジイ林、シリブカガシ林などの常緑広葉樹林（一年を通して緑の葉をつける林）は、緑の少ない都会では、生き物が移動するときに通る緑地としても大切です。
里山林	丘陵部のまとまった広 さの里山林	里山林のコナラ林、アカマツ林は、60年前までは堺市でよく見られる森林でした。いろいろな生き物のすみかとして大切な場所でしたが、手入れをする人がいなくなったり、マツ枯れという病気で枯れたりして、アカマツ林はほとんど残っていません。コナラ林は、昔、人が薪をとっていた林と、マツが枯れた後にできた林で、コナラ林、アカマツ林は人との関わりが深い林といえます。 里山林には、昔の堺市にたくさんいた生き物たちが今もすんでいます。工事によって木が切られたり、最近ではナラ枯れという病気が広がったりして、面積が減っています。生き物のすみかであり続けるためには、まとまった面積の里山林が必要です。
たなだ 棚田	里山林、草地、ため池 などにつながる水田や 水辺	里山林と水田、畑などの農耕地は、つながっていてこそ生き物のすみかとなるものです。ここでは棚田だけでなく、草刈りをする森林の縁やあぜ、水路もまとめて対象とします。 堺市の南部の棚田では、植物のミズオオバコ、両生類のヤマトサンショウウオ、ニホンアカガエル、多くの水辺の昆虫などいろいろな生き物が見られます。水田周りの草刈りをした草地には、オミナエシ、ワレモコウ、リンドウなどレッドリストに載っている草が生え、多くの昆虫がすんでいます。コモウセンゴケ、ミズスキなどの生える湿地があるところもあり、堺市の生物多様性を支える大切な場所となっています。
水田を中心と した農耕地	平野部の水田やため池、 水路、あぜを含む農耕 地	水田や畑は、長い間いろいろな生き物たちのすみかとなってきましたが、堺市では水田が減ってきています。そのために水田や畑をすみかとするアゼオトギリ、イトトリゲモなどの植物、ケリ、タマシギ、ヒクイナ、トノサマガエル、ミナミメダカなどの動物が減ってきています。また、水田とともに手入れされてきた水路やため池にくらす魚たちへの影響も心配されています。
こうげいそうち 高茎草地*を 含む水辺	ヨシやオギなどの草丈 の高い草地を含む広い 水辺	もともと堺市は日本の中でもため池の多い、水辺の自然の豊かなところでした。ヨシやオギなどの草丈の高い草地は、ツバメのねぐらやオオヨシキリ、カヤネズミの巣づくりの場となり、昆虫のすみかにもなっています。このような水辺の周りの草地は、人のくらしの変化や工事などで減ってきていて、残された場所も離れ離れになってしまっています。草丈の高い草地のある、面積が広くつながりのある水辺は、生物多様性を支えるための大切な場所となります。
河川と その周辺	大きな河川とその周辺	川やその周りの草地や林は、生き物を育む大切な場所であるとともに、山の森や里の畑、街の神社やお寺の林などといった、互いに離れた生き物のすみかをつなぐ、生き物の大事な通り道としての役割ももっています。離れた場所で生き物たちがくらすためには、その間を行き来できる川のような通り道があることが大切なのです。

注) ガイドブック用にやさしい文章に書きかえています。

正式な定義は「堺市の生物多様性保全上考慮すべき野生生物 堺市レッドリスト 2021・堺市外来種アラートリスト 2021」をご覧ください。

*社寺林…神社やお寺の林 高茎草地…草丈の高い草地



5. 堺市外来種アラートリスト 2021

どんな生き物を選んでいるの？

カテゴリー	説明
重点対策種 <small>じゅうてんたいさくしゅ</small>	周りの自然や生き物、農業や林業、人の健康に大きな影響 ^{えいぎょう} をあたえると考えられる種。特に堺市にまだ入ってきたばかりの場合、すぐに対策をとらなければならない種。
要注意種 <small>ようちゅうしゅ</small>	周りの自然や生き物、農業や林業、人の健康に影響をあたえるが、重点対策種ほどは影響が大きくない種。
要侵入警戒種 <small>ようしんにゅうけいかいしゅ</small>	堺市にはまだ入ってきていないが、大阪府にはいることがわかっていて、周りの自然や生き物、農業や林業、人の健康に大きな影響をあたえると考えられる種。堺市に入ってきたこと、または増えていることがわかった場合、すぐに対策をとらなければならない種。

注) ガイドブック用にやさしい文章に書きかえています。

正式な定義は「堺市の生物多様性保全上考慮すべき野生生物 堺市レッドリスト 2021・堺市外来種アラートリスト 2021」をご覧ください。

何種類の生き物が選ばれているの？

分類	重点対策種	要注意種	要侵入警戒種	合計
哺乳類 <small>ほにゅう</small>	3種(3種)	4種(3種)	1種(1種)	8種(7種)
鳥類	3種(0種)	3種(6種)	0種(2種)	6種(8種)
爬虫類 <small>はちゅう</small>	1種(1種)	0種(0種)	2種(2種)	3種(3種)
両生類	2種(1種)	0種(0種)	0種(0種)	2種(1種)
淡水魚類 <small>たんすいぎょ</small>	3種(3種)	6種(6種)	5種(4種)	14種(13種)
陸産・淡水産貝類 <small>たんすい</small>	3種(2種)	0種(1種)	2種(2種)	5種(5種)
昆虫類 <small>こんちゅう</small>	2種(0種)	6種(9種)	6種(2種)	14種(11種)
クモ類	1種(1種)	1種(1種)	1種(1種)	3種(3種)
陸産・淡水産甲殻類 <small>たんすい こうかく</small>	1種(1種)	1種1属(0種)	4科(0種)	2種4科1属(1種)
海岸生物	0種(-)	1種(-)	0種(-)	1種(-)
維管束植物 <small>いかんそく</small>	10種1属(9種1属)	31種3属(18種2属)	7種(0種)	48種4属(27種3属)

注1) 哺乳類：イヌやネズミの仲間 鳥類：鳥の仲間 爬虫類：ヘビやカメの仲間 両生類：イモリやカエルの仲間 淡水魚類：川や池にすむ魚の仲間
陸産・淡水産貝類：陸や川・池にすむ貝の仲間 昆虫類：昆虫の仲間 クモ類：クモの仲間 陸産・淡水産甲殻類：陸や川・池にすむエビやカニの仲間
海岸生物：海にすむ貝やエビ・カニ、海藻などの仲間 維管束植物：シダや草木の仲間

注2) () の中は堺市外来種ブラックリスト 2015 年版での数

外来種とは？

外来種（外来生物）とは、「もともとその生き物がくらす場所ではないところへ、人間によって運ばれた生き物」のことをいいます。ペットにするために運ばれる場合もあり、気づかぬうちに荷物にまぎれて運ばれる場合もあります。外国から運ばれるだけでなく、日本の他の地域から運ばれることもあります。

そうした生き物が野外に逃げ出したり放されたりしたとき、もとの生息地にいた天敵がいなかったり、競合する相手がいなかったりして数を増やし、その地域の自然や生き物に大きな影響をあたえることがあります。このような外来種を「侵略的外来生物」とよびます。

堺市外来種アラートリストも、堺市の自然や生き物に大きな影響をあたえる外来種を選んでいます。

■外来種アラートリストの動物

今回の見直しでは、多くの外来動物が新しくアラートリストに追加されました。哺乳類では、ハクビシンが堺市にもいることがわかり、**要注意種**とされました。鳥類では、人の手で放されることの多いコブハクチョウやアイガモ・アヒルなどが**重点対策種**に引き上げられた一方、昔はいたが今はほとんど見られなくなったとしてリストから外れたものもありました。両生類ではアフリカツメガエルがごく最近、堺市にすることがわかり、**重点対策種**として追加されました。魚類では**要侵入警戒種**としてチャネルキャットフィッシュが追加され、昆虫類ではサクラを枯らすことで問題になっているクビアカツヤカミキリが新しく**重点対策種**になったほか、ヒアリなどが**要侵入警戒種**とされました。その他、アクアリウムの生き物として販売されるカワリヌマエビ属や、海岸生物のホンビノスガイが新しく**要注意種**とされ、陸産貝類のオオクビキレガイは農作物への被害が心配されるとして、**要注意種**から**重点対策種**へ引き上げられました。



ハクビシン
(新規要注意種)



コブハクチョウ
(要注意種→重点対策種)



アフリカツメガエル
(新規重点対策種)



クビアカツヤカミキリ
(新規重点対策種)



カワリヌマエビ属
(新規要注意種)

かわいいペットだけれど…

ペットとして身近な動物、ネコ。家の中ではかわいいペットですが、自然の中では鳥や小さな動物を狩る強力なハンターだということを知っていますか。

野外を自由に散歩く飼ネコや、野外でくらす飼主のいないネコ、これらの「野放しネコ」は、鳥や虫、小動物をたくさん捕まえるため、生態系に大きな影響を与えます。木にも上手に登るので、小鳥のヒナなどは見つかったらすぐに食べられてしまいます。

堺市では、外来種アラートリストにネコを選定することはしていませんが、「野放しネコ」を増やさないため、飼ネコを家の外に出すこと、飼主のいないネコにエサをあげることについて、一緒に考えてみましょう。



野外で見られる
ネコ

クサガメは外来種？

クサガメはもともと日本にいた種だと考えられていましたが、DNA分析や文献調査の結果から、ずっと昔に中国や朝鮮半島から持ち込まれた「外来種」らしい、ということが最近わかってきました。

クサガメは、日本にしかないニホンイシガメとの子どもをつくることのできるため、純粋なニホンイシガメが減ってしまうことが心配されています。

私たちにとってなじみ深い生き物であるクサガメ。今回、外来種アラートリストへの選定は見送られましたが、ニホンイシガメへの影響を考え、気軽に池などへ放したりしないよう、慎重に取り扱っていかねばなりません。



クサガメ

■外来種アラートリストの植物

植物の外来種アラートリストの見直しでは、その外来植物がどのような環境^{かんきょう}で問題になるのか、人にはどのような影響があるかを考えて、リストに載せる種を選びました。影響があると判断されてリストアップされた種は、前回より大きく増えています。

森林では、モウソウチクが拡がっているほか、ツルニチニチソウやノハカタカラクサが林の縁^{ふち}などで増えています。ヨシススキはとて大きくなる草で、緑化に使われることがあります。ため池や河川で問題になる種としては、オオバナミズキンバイが新しく重点対策種になりました。セイタカアワダチソウは空き地などですでによく見られる外来種ですが、新しくため池の周りに生えてきた場合は、早めに対策をすべきです。堤防^{ていぼう}や河川敷^{かせんじき}では、もともと園芸用だった植物が野外で増えていることがあり、対策が必要とされました。ハタケニラは増えやすく、畑に生えると取り除くのが難しい雑草です。アレチヌスビトハギは「ひつつきむし」となる実が人にとって「不快」と判断されました。



オオバナミズキンバイ
(新規重点対策種)



ハタケニラ
(新規要注意種)



モウソウチク
(新規要注意種)



アレチヌスビトハギ
(新規要注意種)



ヨシススキ
(新規要侵入警戒種)

水草を捨てないで！

あざやかな黄色い花を咲かせるオオバナミズキンバイは、岸辺や干上がった池でも生育できる、水陸両生の植物です。増える力がとても強く、琵琶湖^{びわこ}などでも大量に増えて、生態系への影響が心配されています。2014年には特定外来生物に指定され、育てたり捨てたりすることは法律で禁止されました。

オオバナミズキンバイは、堺市のため池でも見つかっています。水草の間は、わずかな茎^{くき}からでも簡単に増える種類が多い上に、増えてしまったものを取り除くには大変な手間がかかります。園芸やアクアリウムで水草を育てる人も多いですが、観賞用の水草を楽しむのは、どうか水槽^{すいそう}の中だけで！池や川には捨てないようにしましょう。



オオバナミズキンバイの
生育状況

お月見に飾るのは？

みなさんはお月見のときに何を飾りますか？

「昔はお月見のときにススキをとってくるよう頼まれた」という人もいると思いますが、今では身の回りでススキを見ることは少なくなりました。代わりに堤防などに多く見られるのは、ススキに似ていると言えないこともない、外来種のセイバンモロコシ。これをお供えとして代用するようになるのでしょうか。

野の草や花で季節を感じ、くらしの行事に使うことが、私たちの生活を豊かにしてくれます。本来のススキを知らない子どもたちが増えるとなれば、とても残念なことです。少し足をのばせばお月見用のススキをとりにいける、そんな自然が身近にあってほしいですね。

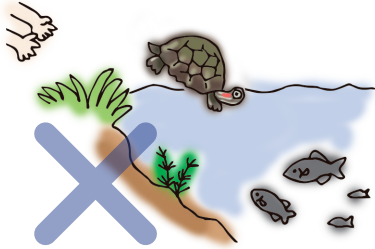
ススキ



セイバンモロコシ

■ 私たちにできること ～増やさないために～

外来種が野外に放されたとき、どんな影響があるか、多くの場合私たちは前もって知ることができません。ほんの数匹、ほんの数株くらい、たいした影響はないはず…そう思って逃がしたペットや、捨てた花壇の花が、いつの間にかたくさん増えて、もともとの自然や生き物に大きな影響をあたえることがあります。



もしそんな生き物が拡がってしまったら、たくさんの手間やお金をかけても、取り除くのは本当に大変です。

ですから、他の地域から持ちこんだ生き物、お店で買った生き物は、絶対に「**野外に放さない**」ようにしましょう。ペットを飼うときは最後まで責任をもって、あなたの元で育ててあげてください。

■ 身の回りで見つけてみよう

外国から持ちこまれて、堺市で増えてきている生き物たち。
外来種アラートリストに載っている生き物を、身の回りで見つけてみましょう。



●ヌートリア (重点対策種) 難易度…★★☆

どんな生き物?…川や沼にくらす大きなネズミの仲間。後ろ足に水かきがあり、泳ぎが得意。植物の葉や茎、二枚貝などを食べる。毛皮をとるために持ちこまれた。
どんなところで探す?…川やため池、その周りの草地で探そう。
頭だけを出してすいすい泳いでいたり、草地で草を食べていたりする。



●アメリカザリガニ (重点対策種) 難易度…★★☆

どんな生き物?…北アメリカ原産の赤いザリガニ(赤くないものもいる)。流れのゆるやかな水の中にすみ、水草や水の中の虫、小魚などを食べる。昭和の初めに持ちこまれてからどんどん増え、水の中の生態系に大きな影響をあたえている。
どんなところで探す?…ため池や田んぼ、水路、公園の池で、草の根本や泥の中を探そう。網ですくうほか、するめなどを餌にした釣りでも捕まえられる。

●オオクビレガイ (重点対策種) 難易度…★★☆

どんな生き物?…3cm くらいの細長い巻貝。殻は薄茶色で、大人の貝は先が欠けるのが特徴。子どもの貝は先が丸い。
植物や他のカタツムリを食べる。レタスなどの作物も食べてしまう。
どんなところで探す?…畑や公園、家の庭などの、落ち葉の下や植木鉢の下など。ダンゴムシやナメクジがいるようなところで見つかる。



マルバアメリカアサガオ



マメアサガオ

●外来アサガオ類 (要注意種) 難易度…★★☆

どんな生き物?…アメリカ大陸原産の、マルバアメリカアサガオ、マメアサガオ、ホシアサガオなどで、つるを伸ばして大きく成長する。夏～秋に白や青や紫などの花を咲かせる。園芸種として植えられたノアサガオも、野外に広がっている。
どんなところで探す?…人里近くの道端や、畑、林の縁、川岸、海岸など。秋でも花をつけているのは外来アサガオ類であることが多い。

見つけた生き物は持ち帰らないようにしましょう。
他の場所へ放すこともしてはいけません。

外来種アラートリストに載っている生き物を見つけたら、15 ページで紹介している「堺いきもの情報館」へぜひ報告してください!



6. 堺市の取り組み

堺市では、堺市の生物多様性を守り、育て、これから先もずっとその恵みがあるように、「生物多様性・堺戦略」という計画を作っています。この計画にもとづいていろいろな取り組みを進めていますが、ここでは市民の皆さんに参加してもらえりる取り組みのひとつ、「堺いきもの情報館（堺生物多様性センター）」についてご紹介します。

堺市の生物多様性を考える WEB サイト

～堺いきもの情報館（堺生物多様性センター）～



堺いきもの情報館（堺生物多様性センター）は、自然と共生する都市をめざして、生物多様性に関する情報の発信と、取り組みの輪を広げていくことを目的に、堺市が開設したウェブサイトです。

市内で見つけた生き物の写真を投稿したり、生き物の動画を見たり、クイズに参加したりと、楽しみながら堺の生物多様性について学べるコンテンツをご用意しています。

生物多様性ってなんだろう？

レッドリスト・外来種アラートリストはこちらから！

調べたいな、お出かけしたいな…

生き物見つけた！報告しよう！

クイズに挑戦！

堺市の生物多様性を考えるWEBサイト

堺の自然・いきもの

調べる・出かける

いきもの発見報告をする

いきものクイズに挑戦する

連携・交流・ネットワークづくり

初めの方へ

数言語版の方へ

メルマガ登録 (外部リンク)

サイト内検索

クリックしてね！
僕たち
〇〇中！
まとめページ

人気のいきもの！
月間アクセスランキング

めざせ100問！
いきものクイズ
月間上位ランキング

順位	名前	連続回数
No.1	たみ さん	89回
No.2	スーモ さん	9回
No.3	みーやん さん	7回

クイズに挑戦する

※ホームページデザインは今後変更されることがあります。

楽しいコンテンツがいっぱい！



<http://www.sakai-ikimono.jp/>



[ウェブサイト]



[Instagram]



投稿された写真の一部を Instagram アカウント「堺いきもの情報館 : sakai_ikimono」に投稿しています。Instagram 限定のネットイベントも定期的に行っています。興味のある方はぜひフォローしてください！

堺市レッドリスト 2021

哺乳類

No.	カテゴリー	前回からの 変更内容	目名	科名	種名	学名	旧カテゴリー	環境省 RL	大阪府 RL
1	B		ネズミ目	ネズミ科	カヤネズミ	<i>Micromys minutus</i>	B		NT
2	B		ネコ目	イタチ科	イタチ	<i>Mustela itatsi</i>	B		VU
3	C		モグラ目	モグラ科	ヒミズ	<i>Urotrichus talpoides</i>	C		
4	C	追加	モグラ目	モグラ科	コウベモグラ	<i>Mogera wogura</i>			
5	C		ウサギ目	ウサギ科	ノウサギ	<i>Lepus brachyurus</i>	C		
6	C		ネコ目	イタチ科	テン	<i>Martes melampus</i>	C		
7	情報不足		コウモリ目	ヒナコウモリ科	ヒナコウモリ	<i>Vespertilio sinensis</i>	情報不足		DD

鳥類

No.	カテゴリー	前回からの 変更内容	目名	科名	種名	学名	旧カテゴリー	環境省 RL	大阪府 RL
1	絶滅		スズメ目	カワガラス科	カワガラス	<i>Cinclus pallasii</i>	絶滅		NT
2	A		キジ目	キジ科	ウズラ	<i>Coturnix japonica</i>	A	VU	CR+EN
3	A		ペリカン目	サギ科	ヨシゴイ	<i>Ixobrychus sinensis</i>	A	NT	VU
4	A		ツル目	クイナ科	クイナ	<i>Rallus aquaticus</i>	A		NT
5	A		ツル目	クイナ科	ヒクイナ	<i>Porzana fusca</i>	A	NT	VU
6	A		チドリ目	チドリ科	イカルチドリ	<i>Charadrius placidus</i>	A		VU
7	A		チドリ目	チドリ科	シロチドリ	<i>Charadrius alexandrinus</i>	A	VU	VU
8	A		チドリ目	タマシギ科	タマシギ	<i>Rostratula benghalensis</i>	A	VU	VU
9	A		チドリ目	ツバメチドリ科	ツバメチドリ	<i>Glaeola maldivarum</i>	A	VU	CR+EN
10	A		チドリ目	カモメ科	コアジサシ	<i>Sterna albifrons</i>	A	VU	CR+EN
11	A		タカ目	タカ科	ハチクマ	<i>Pernis ptilorhynchus</i>	A	NT	CR+EN
12	A		タカ目	タカ科	チュウヒ	<i>Circus spilonotus</i>	A	EN	CR+EN
13	A		タカ目	タカ科	サシバ	<i>Butastur indicus</i>	A	VU	CR+EN
14	A		フクロウ目	フクロウ科	トラフズク	<i>Asio otus</i>	A		VU
15	A		フクロウ目	フクロウ科	コミミスク	<i>Asio flammeus</i>	A		VU
16	B		キジ目	キジ科	ヤマドリ	<i>Syrnaticus soemmerringii</i>	B		
17	B	↑	ペリカン目	サギ科	ゴイサギ	<i>Nycticorax nycticorax</i>	C		
18	B		ヨタカ目	ヨタカ科	ヨタカ	<i>Caprimulgus indicus</i>	B	NT	VU
19	B	↑	チドリ目	チドリ科	ケリ	<i>Vanellus cinereus</i>	C	DD	NT
20	B		チドリ目	シギ科	ツルシギ	<i>Tringa erythropus</i>	B	VU	VU
21	B		チドリ目	シギ科	タカブシギ	<i>Tringa glareola</i>	B	VU	VU
22	B		タカ目	タカ科	オオタカ	<i>Accipiter gentilis</i>	B	NT	NT
23	B		フクロウ目	フクロウ科	フクロウ	<i>Strix uralensis</i>	B		NT
24	B		フクロウ目	フクロウ科	アオバズク	<i>Ninox scutulata</i>	B		VU
25	B		スズメ目	サンショウクイ科	サンショウクイ	<i>Pericrocotus divaricatus</i>	B	VU	VU
26	B	↑	スズメ目	ヨシキリ科	オオヨシキリ	<i>Acrocephalus orientalis</i>	C		NT
27	B	↑	スズメ目	セッカ科	セッカ	<i>Cisticola juncidis</i>	C		NT
28	C		キジ目	キジ科	キジ	<i>Phasianus colchicus</i>	C		
29	C		ペリカン目	サギ科	アマサギ	<i>Bubulcus ibis</i>	C		VU
30	C		ペリカン目	サギ科	チュウサギ	<i>Egretta intermedia</i>	C	NT	
31	C		ペリカン目	サギ科	コサギ	<i>Egretta garzetta</i>	C		
32	C	追加	カッコウ目	カッコウ科	ホトトギス	<i>Cuculus poliocephalus</i>			
33	C		チドリ目	チドリ科	コチドリ	<i>Charadrius dubius</i>	C		NT
34	C		チドリ目	シギ科	タシギ	<i>Gallinago gallinago</i>	C		NT
35	C		チドリ目	シギ科	クサシギ	<i>Tringa ochropus</i>	C		NT
36	C		チドリ目	シギ科	トウネン	<i>Calidris ruficollis</i>	C		NT
37	C		チドリ目	シギ科	ハマシギ	<i>Calidris alpina</i>	C	NT	
38	C		タカ目	ミサゴ科	ミサゴ	<i>Pandion haliaetus</i>	C	NT	
39	C		タカ目	タカ科	トビ	<i>Milvus migrans</i>	C		
40	C		タカ目	タカ科	ノスリ	<i>Buteo buteo</i>	C		NT
41	C		ハヤブサ目	ハヤブサ科	ハヤブサ	<i>Falco peregrinus</i>	C	VU	
42	C		スズメ目	カササギヒタキ科	サンコウチョウ	<i>Terpsiphone atrocaudata</i>	C		
43	C		スズメ目	ヒバリ科	ヒバリ	<i>Alauda arvensis</i>	C		NT
44	C	追加	スズメ目	ツバメ科	コシアカツバメ	<i>Hirundo daurica</i>			NT



ヒミズ
(Gランク)



ヒクイナ
(Aランク)



ヤマトサンショウクイ
(Aランク)



タマムシ
(Cランク)



サワガニ
(Cランク)

爬虫類

No.	カテゴリー	前回からの 変更内容	目名	科名	種名	学名	旧カテゴリー	環境省 RL	大阪府 RL
1	B	↑	カメ目	イシガメ科	ニホンイシガメ	<i>Mauremys japonica</i>	C	NT	NT
2	B		有鱗目	ナミヘビ科	ヒバカリ	<i>Hebius vibakari vibakari</i>	B		VU
3	C		有鱗目	トカゲ科	ニホントカゲ	<i>Plestiodon japonicus</i>	C		
4	C		有鱗目	カナヘビ科	ニホンカナヘビ	<i>Takydromus tachydromoides</i>	C		
5	C		有鱗目	クサリヘビ科	ニホンマムシ	<i>Gloydus blomhoffii</i>	C		
6	情報不足		カメ目	スッポン科	ニホンスッポン	<i>Pelodiscus sinensis</i>	情報不足	DD	
7	情報不足		有鱗目	ナミヘビ科	ジムグリ	<i>Euprepiophis conspicillatus</i>	情報不足		
8	情報不足		有鱗目	ナミヘビ科	シロマダラ	<i>Lycodon orientalis</i>	情報不足		NT
9	情報不足	追加	有鱗目	ナミヘビ科	ヤマカガシ	<i>Rhabdophis tigrinus</i>			NT

両生類

No.	カテゴリー	前回からの 変更内容	目名	科名	種名	学名	旧カテゴリー	環境省 RL	大阪府 RL
1	絶滅		無尾目	アカガエル科	ナゴヤダルマガエル	<i>Pelophylax porosus brevipodus</i>	絶滅	EN	CR+EN
2	A		有尾目	サンショウウオ科	ヤマトサンショウウオ*	<i>Hynobius vandenburghi</i>	A	VU	CR+EN
3	A		有尾目	イモリ科	アカハライモリ	<i>Cynops pyrrhogaster</i>	A	NT	NT
4	B		無尾目	アカガエル科	ニホンアカガエル	<i>Rana japonica</i>	B		VU
5	B		無尾目	アカガエル科	ツチガエル	<i>Glandirana rugosa</i>	B		NT
6	B		無尾目	アカガエル科	トノサマガエル	<i>Pelophylax nigromaculatus</i>	B	NT	NT
7	B		無尾目	アオガエル科	シュレーゲルアオガエル	<i>Zhangixalus schlegelii</i>	B		NT
8	B	↑	無尾目	アオガエル科	カジカガエル	<i>Buergeria buergeri</i>	情報不足		
9	情報不足		無尾目	アカガエル科	タゴガエル	<i>Rana tagoi tagoi</i>	情報不足		

※ 2015年版から種名の変更があったもの：カスミサンショウウオ→ヤマトサンショウウオ

淡水魚類

No.	カテゴリー	前回からの 変更内容	目名	科名	種名	学名	旧カテゴリー	環境省 RL	大阪府 RL
1	A		コイ目	コイ科	カワバタモロコ	<i>Hemigrammocypris neglectus</i>	A	EN	CR+EN
2	A	↑	コイ目	ドジョウ科	ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>	B	NT	VU
3	A	↑	タツ目	メダカ科	ミナミメダカ	<i>Oryzias latipes</i>	B	VU	VU
4	B		ウナギ目	ウナギ科	ニホンウナギ	<i>Anguilla japonica</i>	B	EN	VU
5	B		コイ目	コイ科	ヌマムツ	<i>Candidia sieboldii</i>	B		VU
6	B		スズキ目	ドンコ科	ドンコ	<i>Odontobutis obscura</i>	B		
7	C	↓	スズキ目	ハゼ科	ウキゴリ	<i>Gymnogobius urotaenia</i>	B		NT
8	C		コイ目	コイ科	タモロコ	<i>Gnathopogon elongatus elongatus</i>	C		NT
9	C		ナマズ目	ナマズ科	ナマズ	<i>Silurus asotus</i>	C		NT
10	C		サケ目	アユ科	アユ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>	C		NT
11	C		スズキ目	ハゼ科	シマヒレヨシノボリ	<i>Rhinogobius</i> sp. BF	C	NT	NT
12	情報不足		コイ目	コイ科	オオキンブナ	<i>Carassius buergeri buergeri</i>	情報不足		
13	情報不足		コイ目	コイ科	ギンブナ	<i>Carassius</i> sp.	情報不足		
14	情報不足		サケ目	サケ科	サツキマス	<i>Oncorhynchus masou ishikawae</i>	情報不足	NT	DD
15	情報不足	追加	スズキ目	アカメ科	アカメ	<i>Lates japonicus</i>		EN	
16	情報不足		スズキ目	ハゼ科	トウヨシノボリ類*	<i>Rhinogobius</i> sp. OR unidentified	情報不足		DD

※ 2015年版から種名の変更があったもの：トウヨシノボリ→トウヨシノボリ類

陸産・淡水産貝類

No.	カテゴリー	前回からの 変更内容	綱名	目名	科名	種名	学名	旧カテゴリー	環境省 RL	大阪府 RL
1	絶滅		腹足綱	ニシキウス目	タニシ科	マルタニシ	<i>Cipangopaludina cf. laeta</i>	絶滅	VU	VU
2	A		腹足綱	嚢舌上目	モノアラガイ科	モノアラガイ	<i>Radix auricularia japonica</i>	A	NT	CR+EN
3	A		二枚貝綱	イシガイ目	イシガイ科	マツカサガイ広域分布種*	<i>Pronodularia cf. japonensis</i> 1	A	NT	VU
4	B		腹足綱	ニシキウス目	タニシ科	オオタニシ	<i>Heterogen japonica</i>	B	NT	VU
5	B		腹足綱	嚢舌上目	ヒラマキガイ科	ヒラマキミズマイマイ	<i>Gyraulus chinensis spirillus</i>	B	DD	
6	B		腹足綱	柄眼目	オカモノアラガイ科	ナガオカモノアラガイ	<i>Oxyloma hirasei</i>	B	NT	NT
7	B		腹足綱	柄眼目	ナンバンマイマイ科	ケハダヒロウドマイマイ	<i>Nipponochloritis fragilis</i>	B	NT	VU
8	B		二枚貝綱	マルスダレガイ目	シジミ科	マシジミ	<i>Corbicula leana</i>	B	VU	VU
9	C		腹足綱	ニシキウス目	カワニナ科	カワニナ	<i>Semisulcospira libertina</i>	C		
10	C		腹足綱	ニシキウス目	カワニナ科	チリメンカワニナ	<i>Semisulcospira reiniana</i>	C		
11	C		腹足綱	嚢舌上目	ヒラマキガイ科	ヒラマキモドキ*	<i>Polypylis hemisphaerula</i>	C	NT	
12	C		腹足綱	柄眼目	ナンバンマイマイ科	クチマガリマイマイ	<i>Aegista (Coelorus) cavicollis</i>	C	NT	
13	C		二枚貝綱	ザルガイ目	ドブシジミ科	ドブシジミ	<i>Musculium japonicum</i>	C		NT
14	情報不足		腹足綱	嚢舌上目	ヒラマキガイ科	カワネジガイ	<i>Camptoceras hirasei</i>	情報不足	CR	EX
15	情報不足		腹足綱	嚢舌上目	ヒラマキガイ科	レンズヒラマキ*	<i>Helicorbis cf. cantori</i>	情報不足	VU	DD
16	情報不足		腹足綱	柄眼目	ナンバンマイマイ科	ヒメタマゴマイマイ	<i>Satsuma (Satsuma) pagodula</i>	情報不足	NT	DD

※ 2015年版から種名の変更があったもの：マツカサガイ→マツカサガイ広域分布種、ヒラマキガイモドキ→ヒラマキモドキ、クルマヒラマキガイ→レンズヒラマキ

■ 前回からの変更内容

追加：堺市レッドリスト 2015年版 から新たに追加された種 ↑：堺市レッドリスト 2015年版からランクが上がった種 ↓：堺市レッドリスト 2015年版からランクが下がった種
除外：堺市レッドリスト 2015年版から除外した種

■ 環境省 R L（環境省第4次レッドリスト）と大阪府 R L（大阪府レッドリスト 2014）のカテゴリー略称

EX：絶滅 CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類 CR：絶滅危惧Ⅱ類 EN：絶滅危惧Ⅲ類 VU：絶滅危惧Ⅳ類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足

昆虫類

No.	カテゴリー	前回からの 変更内容	目名	科名	種名	学名	旧カテゴリー	環境省 RL	大阪府 RL
1	絶滅		トンボ目	アオイトトンボ科	コバネアオイトトンボ	<i>Lestes japonicus</i>	絶滅	EN	CR+EN
2	絶滅	↑	トンボ目	イトトンボ科	モートンイトトンボ	<i>Mortonagrion selenion</i>	A	NT	CR+EN
3	絶滅		トンボ目	トンボ科	ベッコウトンボ	<i>Libellula angelina</i>	絶滅	CR	EX
4	絶滅		トンボ目	トンボ科	キトンボ	<i>Sympetrum croceolum</i>	絶滅		VU
5	絶滅		トンボ目	トンボ科	マダラナニウトンボ	<i>Sympetrum maculatum</i>	絶滅	EN	EX
6	絶滅		カメムシ目	コオイムシ科	タガメ	<i>Kirkaldyia deyrolli</i>	絶滅	VU	VU
7	絶滅		カメムシ目	コバンムシ科	コバンムシ	<i>Ilyocoris cimicoides exclamationis</i>	絶滅	EN	CR+EN
8	絶滅		アミメカゲロウ目	ウスバカゲロウ科	オオウスバカゲロウ	<i>Synclisis japonica</i>	絶滅		CR+EN
9	絶滅		チョウ目	セセリチョウ科	ギンイチモンジセセリ	<i>Leptalina unicolor</i>	絶滅	NT	EX
10	絶滅		チョウ目	シジミチョウ科	シルビアシジミ	<i>Zizina emelina emelina</i>	絶滅	EN	CR+EN
11	絶滅		コウチュウ目	オサムシ科	ウミミズギワゴミムシ	<i>Bembidion umi</i>	絶滅	NT	CR+EN
12	絶滅		コウチュウ目	オサムシ科	クビナガキベリアオゴミムシ	<i>Chlaenius prostenus</i>	絶滅	DD	EX
13	絶滅		コウチュウ目	オサムシ科	ヒョウタンゴミムシ	<i>Scarites aterrimus</i>	絶滅		VU
14	絶滅		コウチュウ目	ハンミョウ科	カワラハンミョウ	<i>Chaetodera laetescripta</i>	絶滅	EN	EX
15	絶滅		コウチュウ目	ハンミョウ科	ルイスハンミョウ	<i>Cicindela lewisi</i>	絶滅	EN	EX
16	絶滅		コウチュウ目	ゲンゴロウ科	マルコガタノゲンゴロウ	<i>Cybister lewisianus</i>	絶滅	CR	EX
17	絶滅		コウチュウ目	ゲンゴロウ科	コガタノゲンゴロウ	<i>Cybister tripunctatus lateralis</i>	絶滅	VU	EX
18	絶滅		コウチュウ目	ゲンゴロウ科	マルガタゲンゴロウ	<i>Graphoderus adamsii</i>	絶滅	VU	CR+EN
19	絶滅		コウチュウ目	ゲンゴロウ科	シマゲンゴロウ	<i>Hydaticus bowringii</i>	絶滅	NT	NT
20	絶滅		コウチュウ目	ゲンゴロウ科	スジゲンゴロウ	<i>Hydaticus satoi</i>	絶滅	EX	EX
21	絶滅		コウチュウ目	カワラゴミムシ科	カワラゴミムシ	<i>Omophron aequalis</i>	絶滅		CR+EN
22	絶滅		コウチュウ目	ガムシ科	コガタガムシ	<i>Hydrophilus bilineatus cashimirensis</i>	絶滅	VU	CR+EN
23	絶滅		コウチュウ目	カミキリムシ科	ベーツヒラタカミキリ	<i>Euryopoda batesi</i>	絶滅		CR+EN
24	絶滅	↑	ハチ目	アナバチ科	キゴシジガバチ	<i>Sceliphron madraspatanum</i>	A		VU
25	A		トンボ目	イトトンボ科	ホソミイトトンボ	<i>Aciagrion migratum</i>	A		NT
26	A		トンボ目	イトトンボ科	ベニイトトンボ	<i>Ceragrion nipponicum</i>	A	NT	NT
27	A		トンボ目	ヤンマ科	ネアカヨシヤンマ	<i>Aeschnophlebia anisoptera</i>	A	NT	VU
28	A		トンボ目	ヤンマ科	アオヤンマ	<i>Aeschnophlebia longistigma</i>	A	NT	VU
29	A		トンボ目	ヤンマ科	オオルリボシヤンマ	<i>Aeshna crenata</i>	A		NT
30	A		トンボ目	サナエトンボ科	キイロサナエ	<i>Asiagomphus pryeri</i>	A	NT	NT
31	A		トンボ目	サナエトンボ科	オグマサナエ	<i>Trigomphus ogumai</i>	A	NT	VU
32	A		トンボ目	エソトンボ科	ハネビロエソトンボ	<i>Somatochlora clavata</i>	A	VU	VU
33	A	↑	トンボ目	エソトンボ科	タカナトンボ	<i>Somatochlora uchidai</i>	B		
34	A		トンボ目	エソトンボ科	エソトンボ	<i>Somatochlora viridiaenea</i>	A		VU
35	A		トンボ目	トンボ科	ハッチョウトンボ	<i>Nannophya pygmaea</i>	A		CR+EN
36	A		トンボ目	トンボ科	ナニウトンボ	<i>Sympetrum gracile</i>	A	VU	VU
37	A		トンボ目	トンボ科	ヒメアカネ	<i>Sympetrum parvulum</i>	A		NT
38	A		トンボ目	トンボ科	ミヤマアカネ	<i>Sympetrum pedemontanum elatum</i>	A		NT
39	A		トンボ目	トンボ科	オオキトンボ	<i>Sympetrum uniforme</i>	A	EN	CR+EN
40	A	↑	カマキリ目	カマキリ科	ヒナカマキリ	<i>Amantis nawai</i>	B		NT
41	A		カマキリ目	カマキリ科	ウスバカマキリ	<i>Mantis religiosa sinica</i>	A	DD	CR+EN
42	A		バッタ目	バッタ科	イナゴモドキ	<i>Mecostethus parapleurus</i>	A		NT
43	A	↑	バッタ目	イナゴ科	セグロイナゴ	<i>Shirakiacris shirakii</i>	B		VU
44	A		カメムシ目	グンバイウンカ科	ハウチワウンカ	<i>Trypetimorpha japonica</i>	A	VU	VU
45	A		カメムシ目	セミ科	ハルゼミ	<i>Terposia vacua</i>	A		NT
46	A		カメムシ目	キジラミ科	エノキカイガラキジラミ	<i>Celtisaspis japonica</i>	A	NT	VU
47	A		カメムシ目	イトアメンボ科	イトアメンボ	<i>Hydrometra albolineata</i>	A	VU	VU
48	A		カメムシ目	カタビロアメンボ科	オヨギカタビロアメンボ	<i>Xiphovelia japonica</i>	A	NT	VU
49	A		チョウ目	セセリチョウ科	アオバセセリ	<i>Choaspes benjaminii japonicus</i>	A		NT
50	A		チョウ目	セセリチョウ科	ミヤマセセリ	<i>Erynnis montana montana</i>	A		NT
51	A		チョウ目	セセリチョウ科	オオチャバネセセリ	<i>Polytrems pellucida pellucida</i>	A		NT
52	A		チョウ目	シジミチョウ科	ウラナミアカシジミ	<i>Japonica saepestriata saepestriata</i>	A		VU
53	A		チョウ目	シジミチョウ科	ミドリシジミ	<i>Neozephyrus japonicus japonicus</i>	A		NT
54	A		チョウ目	シジミチョウ科	ゴイシシジミ	<i>Taraka hamada hamada</i>	A		
55	A		チョウ目	タテハチョウ科	サカハチチョウ	<i>Araschnia burejana burejana</i>	A		
56	A		チョウ目	タテハチョウ科	メスグロヒョウモン	<i>Damora sagana liane</i>	A		
57	A		チョウ目	タテハチョウ科	スミナガシ	<i>Dichorragia nesimachus nesiotis</i>	A		NT
58	A		チョウ目	タテハチョウ科	イチモンジチョウ	<i>Limenitis camilla japonica</i>	A		
59	A	追加	チョウ目	タテハチョウ科	オオムラサキ	<i>Sasakia charonda charonda</i>		NT	NT
60	A		チョウ目	アゲハチョウ科	オナガアゲハ	<i>Papilio macilentus macilentus</i>	A		
61	A		チョウ目	シロチョウ科	ツマグロキチョウ	<i>Eurema laeta betheseba</i>	A	EN	CR+EN
62	A		チョウ目	ドクガ科	フチヒゲヤナギドクガ	<i>Leucoma candida</i>	A		VU
63	A		コウチュウ目	ミズスマシ科	ミズスマシ	<i>Gyrinus japonicus</i>	A	VU	VU
64	A	追加	コウチュウ目	コガシラミズムシ科	マダラコガシラミズムシ	<i>Haliphys sharpi</i>		VU	VU
65	A		コウチュウ目	コガネムシ科	ヤマトアオドウガネ	<i>Anomala japonica</i>	A		CR+EN
66	A		コウチュウ目	コガネムシ科	セマルケシマグソコガネ	<i>Psammodytes convexus</i>	A		NT
67	A		コウチュウ目	ホタル科	ヘイケボタル	<i>Luciola lateralis</i>	A		NT
68	A		コウチュウ目	ホタル科	ヒメボタル	<i>Luciola parvula</i>	A		NT
69	A		コウチュウ目	カミキリムシ科	ヨツボシカミキリ	<i>Stenyrinus quadrinotatum</i>	A	EN	VU
70	A		コウチュウ目	カミキリムシ科	ムネマダラトラカミキリ	<i>Xylotrechus greyii greyii</i>	A		VU
71	B		トンボ目	アオイトトンボ科	オツネントンボ	<i>Sympecma paedisca</i>	B		NT
72	B	↑	トンボ目	イトトンボ科	セスジイトトンボ	<i>Paracercion hieroglyphicum</i>	C		NT

昆虫類 (つづき)

No.	カテゴリー	前回からの 変更内容	目名	科名	種名	学名	旧カテゴリー	環境省 RL	大阪府 RL
73	B		トンボ目	カワトンボ科	ニホンカワトンボ	<i>Mnais costalis</i>	B		
74	B		トンボ目	ヤンマ科	マルタンヤンマ	<i>Anaciaeschna martini</i>	B		NT
75	B		トンボ目	ヤンマ科	コシボソヤンマ	<i>Boyeria maclachlani</i>	B		
76	B		トンボ目	ヤンマ科	カトリヤンマ	<i>Gynacantha japonica</i>	B		NT
77	B		トンボ目	ヤンマ科	サラサヤンマ	<i>Sarasaeschna pryeri</i>	B		NT
78	B		トンボ目	サナエトンボ科	ヤマサナエ	<i>Asiagomphus melaenops</i>	B		
79	B		トンボ目	サナエトンボ科	オナガサナエ	<i>Melligomphus viridicostus</i>	B		
80	B	追加	トンボ目	サナエトンボ科	アオサナエ	<i>Nihonogomphus viridis</i>			NT
81	B	追加	トンボ目	サナエトンボ科	メガネサナエ	<i>Stylurus oculatus</i>		VU	VU
82	B		トンボ目	サナエトンボ科	フタスジサナエ	<i>Trigomphus interruptus</i>	B	NT	NT
83	B		トンボ目	ムカシヤンマ科	ムカシヤンマ	<i>Tanypteryx pryeri</i>	B		NT
84	B		トンボ目	エゾトンボ科	トラフトンボ	<i>Epithea marginata</i>	B		NT
85	B		トンボ目	トンボ科	ヨツボシトンボ	<i>Libellula quadrimaculata asahinai</i>	B		NT
86	B	↑	トンボ目	トンボ科	ナツアカネ	<i>Sympetrum darwinianum</i>	C		NT
87	B	↑	トンボ目	トンボ科	ノシメトンボ	<i>Sympetrum infuscatum</i>	C		NT
88	B		トンボ目	トンボ科	マイコアカネ	<i>Sympetrum kunkeli</i>	B		NT
89	B		バッタ目	キリギリス科	カヤキリ	<i>Pseudorhynchus japonicus</i>	B		
90	B		カメムシ目	セミ科	チツゼミ	<i>Kosemia radiator</i>	B		
91	B	↑	カメムシ目	ミズムシ科	オオミズムシ	<i>Hesperocorixa koltzoffi</i>	C	NT	NT
92	B		カメムシ目	コオイムシ科	コオイムシ	<i>Appasus japonicus</i>	B	NT	NT
93	B	↑	カメムシ目	タイコウチ科	タイコウチ	<i>Laccotrephes japonensis</i>	C		
94	B		アミメカゲロウ目	カマキリモドキ科	キカマキリモドキ	<i>Eumantissa harmandi</i>	B		
95	B		チョウ目	セセリチョウ科	ホソバセセリ	<i>Isoetion lamprospilus lamprospilus</i>	B		NT
96	B		チョウ目	タテハチョウ科	ミドリヒョウモン	<i>Argynnis paphia tsushimana</i>	B		
97	B		チョウ目	タテハチョウ科	ジャノメチョウ	<i>Minois dryas bipunctata</i>	B		
98	B		チョウ目	ヤマムギ科	オナガミスアオ	<i>Actias gnoma gnoma</i>	B	NT	NT
99	B		コウチュウ目	オサムシ科	コキベリアオゴミムシ	<i>Chlaenius circumdatus</i>	B		VU
100	B		コウチュウ目	オサムシ科	オトツクリゴミムシ	<i>Oodes vicarius</i>	B	NT	NT
101	B		コウチュウ目	オサムシ科	イグチケブカゴミムシ	<i>Peronomerus auripilis</i>	B	NT	NT
102	B		コウチュウ目	ハンミョウ科	エリザハンミョウ	<i>Cylindera elisae elisae</i>	B		
103	B		コウチュウ目	ゲンゴロウ科	ルイスツブゲンゴロウ	<i>Laccophilus lewisius</i>	B	VU	VU
104	B		コウチュウ目	ミズスマシ科	オオミズスマシ	<i>Dineutus orientalis</i>	B	NT	VU
105	B		コウチュウ目	コガシラミズムシ科	キヒロコガシラミズムシ	<i>Haliphys eximius</i>	B	VU	VU
106	B		コウチュウ目	ホソガムシ科	チュウフホソガムシ	<i>Hydrochus chubu</i>	B	VU	DD
107	B	↑	コウチュウ目	クワガタムシ科	ネプトクワガタ	<i>Aegus laevicollis subnitidus</i>	C		
108	B		コウチュウ目	コガネムシ科	コカブトムシ	<i>Eophileurus chinensis chinensis</i>	B		
109	B		コウチュウ目	テントウムシ科	ジュウクホシテントウ	<i>Anisosticta kobensis</i>	B		NT
110	B		コウチュウ目	テントウムシ科	ジュウサンホシテントウ	<i>Hippodamia tredecimpunctata</i>	B		NT
111	B	追加	コウチュウ目	カミキリムシ科	ニセノコギリカミキリ	<i>Prionus sejunctus</i>			
112	B		コウチュウ目	ハムシ科	キンイロネクイハムシ	<i>Donacia japana</i>	B	NT	VU
113	B		ハチ目	コマコバチ科	ウマノオバチ	<i>Eurobracon yokahamae</i>	B	NT	VU
114	B		ハチ目	ミツバチ科	クロマルハナバチ	<i>Bombus ignitus</i>	B	NT	DD
115	C	追加	トンボ目	アオイトトンボ科	ホソミオツネントンボ	<i>Indolestes peregrinus</i>			
116	C		トンボ目	イトトンボ科	キイトトンボ	<i>Ceriagrion melanurum</i>	C		NT
117	C		トンボ目	ヤンマ科	ミルンヤンマ	<i>Planaeschna milnei milnei</i>	C		
118	C		トンボ目	サナエトンボ科	ウチワヤンマ	<i>Sinictinogomphus clavatus</i>	C		NT
119	C		トンボ目	サナエトンボ科	オジロサナエ	<i>Stylogomphus suzukii</i>	C		
120	C	追加	トンボ目	オニヤンマ科	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>			
121	C		トンボ目	トンボ科	コフキトンボ	<i>Deiella phaon</i>	C		NT
122	C		トンボ目	トンボ科	シオヤトンボ	<i>Orthetrum japonicum</i>	C		
123	C		トンボ目	トンボ科	コノシメトンボ	<i>Sympetrum baccha matutinum</i>	C		
124	C		トンボ目	トンボ科	アキアカネ	<i>Sympetrum frequens</i>	C		NT
125	C		トンボ目	トンボ科	ネキトンボ	<i>Sympetrum speciosum speciosum</i>	C		
126	C		バッタ目	キリギリス科	ササキリモドキ	<i>Kuzicus suzukii</i>	C		
127	C		バッタ目	マツムシ科	スズムシ	<i>Meloimorpha japonica</i>	C		
128	C		バッタ目	コオロギ科	クマスズムシ	<i>Sclerogryllus punctatus</i>	C		
129	C		バッタ目	コオロギ科	ナツノツツレサセコオロギ	<i>Velarifictorus grylloides</i>	C		NT
130	C		バッタ目	ヒバリモドキ科	キンヒバリ	<i>Natula matsuurai</i>	C		
131	C		バッタ目	バッタ科	クルマバッタ	<i>Gastrimargus marmoratus</i>	C		
132	C		バッタ目	バッタ科	ショウリョウバッタモドキ	<i>Gonista bicolor</i>	C		
133	C		バッタ目	バッタ科	ナキイナゴ	<i>Mongolotettix japonicus</i>	C		VU
134	C		バッタ目	ヒシバッタ科	ニセハネナガヒシバッタ	<i>Ergatettix dorsifer</i>	C		
135	C		カメムシ目	セミ科	ミンミンゼミ	<i>Hyalessa maculaticollis</i>	C		
136	C		カメムシ目	セミ科	ヒグラシ	<i>Tanna japonensis</i>	C		
137	C		カメムシ目	アメンボ科	オオアメンボ	<i>Aquarius elongatus</i>	C		
138	C		カメムシ目	アメンボ科	ヤスマツアメンボ	<i>Gerris insularis</i>	C		NT
139	C		カメムシ目	ミズカメムシ科	ムモンミズカメムシ	<i>Mesovelvia miyamotoi</i>	C		NT
140	C		カメムシ目	タイコウチ科	ミズカマキリ	<i>Ranatra chinensis</i>	C		NT
141	C		カメムシ目	タイコウチ科	ヒメミズカマキリ	<i>Ranatra unicolor</i>	C		NT
142	C		アミメカゲロウ目	カマキリモドキ科	ヒメカマキリモドキ	<i>Mantissa japonica japonica</i>	C		
143	C		アミメカゲロウ目	ツノトンボ科	ツノトンボ	<i>Ascalohybris subjacens</i>	C		
144	C	追加	アミメカゲロウ目	ウスバカゲロウ科	リュウキュウホシウスバカゲロウ	<i>Paraglenurus okinawensis</i>			

昆虫類 (つづき)

No.	カテゴリー	前回からの 変更内容	目名	科名	種名	学名	旧カテゴリー	環境省 RL	大阪府 RL
145	C		トビケラ目	アシエダトビケラ科	コバントビケラ	<i>Anisocentropus kawamurae</i>	C		
146	C		チョウ目	セセリチョウ科	ダイミョウセセリ	<i>Daimio tethys tethys</i>	C		
147	C		チョウ目	セセリチョウ科	キマダラセセリ	<i>Potanthus flavus flavus</i>	C		
148	C		チョウ目	セセリチョウ科	コチャバネセセリ	<i>Thoressa varia</i>	C		
149	C		チョウ目	シジミチョウ科	ミズイロオナガシジミ	<i>Antigius attilia attilia</i>	C		
150	C		チョウ目	シジミチョウ科	ムラサキツバメ	<i>Arhopala bazalus turbata</i>	C		
151	C		チョウ目	シジミチョウ科	コツバメ	<i>Callophrys ferrea ferrea</i>	C		
152	C		チョウ目	シジミチョウ科	アカシジミ	<i>Japonica lutea lutea</i>	C		
153	C		チョウ目	シジミチョウ科	トラフシジミ	<i>Rapala arata</i>	C		
154	C		チョウ目	タテハチョウ科	コムラサキ	<i>Apatura metis substituta</i>	C		
155	C		チョウ目	タテハチョウ科	クロヒカゲ	<i>Lethe diana diana</i>	C		
156	C		チョウ目	タテハチョウ科	ヒカゲチョウ	<i>Lethe sicelis</i>	C		
157	C		チョウ目	タテハチョウ科	コジャノメ	<i>Mycalasis francisca perdiccas</i>	C		
158	C	追加	チョウ目	タテハチョウ科	ヒメジャノメ	<i>Mycalasis gotama fulginia</i>			
159	C		チョウ目	タテハチョウ科	ヒオドシチョウ	<i>Nymphalis xanthomelas japonica</i>	C		
160	C		チョウ目	アゲハチョウ科	ジャコウアゲハ	<i>Atrophaneura alcinous alcinous</i>	C		
161	C		チョウ目	アゲハチョウ科	カラスアゲハ	<i>Papilio dehaanii dehaanii</i>	C		
162	C		チョウ目	シロチョウ科	ツマキチョウ	<i>Anthocharis scolymus scolymus</i>	C		
163	C		チョウ目	シロチョウ科	スジグロシロチョウ	<i>Pieris melete</i>	C		
164	C		チョウ目	ツトガ科	フチムラサキノメイガ	<i>Aurorobotys aurorina</i>	C		NT
165	C	追加	チョウ目	ツトガ科	イネコミズメイガ	<i>Parapoynx vittalis</i>			
166	C		チョウ目	ヤマムコガ科	オオミズアオ	<i>Actias aliena aliena</i>	C		
167	C	追加	チョウ目	ヤマムコガ科	ヤマムコ	<i>Antheraea yamamai yamamai</i>			
168	C		チョウ目	ヤマムコガ科	ウスタビガ	<i>Rhodinia fugax fugax</i>	C		
169	C		チョウ目	ヤマムコガ科	シンジュサン	<i>Samia cynthia pryeri</i>	C		
170	C	追加	チョウ目	ヤガ科	コシロシタバ	<i>Catocala actaea</i>		NT	
171	C		チョウ目	ヤガ科	キシタバ	<i>Catocala patala</i>	C		
172	C	追加	チョウ目	ヤガ科	アサマキシタバ	<i>Catocala streckeri</i>			NT
173	C	追加	チョウ目	ヤガ科	ホソバオビキリガ	<i>Dryobotodes angusta</i>			NT
174	C		チョウ目	ヤガ科	オオトモエ	<i>Erebus ephesperis</i>	C		
175	C		チョウ目	ヤガ科	キシタアツバ	<i>Hypena claripennis</i>	C	NT	NT
176	C		チョウ目	ヤガ科	マイコトラガ	<i>Maikona jezoensis jezoensis</i>	C		NT
177	C		コウチュウ目	ハンミョウ科	ナミハンミョウ※	<i>Cicindela japonica</i>	C		NT
178	C		コウチュウ目	ハンミョウ科	コハンミョウ	<i>Myriochile specularis</i>	C		
179	C		コウチュウ目	ゲンゴロウ科	ウスイロシマゲンゴロウ	<i>Hydaticus rhantoides</i>	C		NT
180	C		コウチュウ目	ゲンゴロウ科	コマルケシゲンゴロウ	<i>Hydrovatus acuminatus</i>	C	NT	NT
181	C		コウチュウ目	ゲンゴロウ科	ケシゲンゴロウ	<i>Hyphydrus japonicus</i>	C	NT	NT
182	C		コウチュウ目	ゲンゴロウ科	シャープツブゲンゴロウ	<i>Laccophilus sharpi</i>	C	NT	NT
183	C		コウチュウ目	ゲンゴロウ科	マルチビゲンゴロウ	<i>Leiodytes frontalis</i>	C	NT	NT
184	C		コウチュウ目	ガムシ科	マルヒラタガムシ	<i>Enochrus subsignatus</i>	C	NT	NT
185	C		コウチュウ目	ガムシ科	スジヒラタガムシ	<i>Helochares nipponicus</i>	C	NT	NT
186	C		コウチュウ目	ガムシ科	コガムシ	<i>Hydrochara affinis</i>	C	DD	NT
187	C		コウチュウ目	シテムシ科	オオサカヒラタシテムシ	<i>Eusilpha jakowlewi similator</i>	C		NT
188	C		コウチュウ目	クワガタムシ科	ヒラタクワガタ	<i>Doreus titanus pilifer</i>	C		
189	C		コウチュウ目	コガネムシ科	ドウガネフイブイ	<i>Anomala cuprea</i>	C		NT
190	C		コウチュウ目	タマムシ科	タマムシ	<i>Chrysochroa fulgidissima fulgidissima</i>	C		
191	C		コウチュウ目	コメツクムシ科	チャイロムナボソコメツク	<i>Agriotes subvittatus ogurae</i>	C		NT
192	C		コウチュウ目	コメツクムシ科	ウバタマコメツク	<i>Cryptalaus berus</i>	C		
193	C	↓	コウチュウ目	ホタル科	ゲンジボタル	<i>Luciola cruciata</i>	B		
194	C		コウチュウ目	ホタル科	クロマドボタル	<i>Pyrocoelia fumosa</i>	C		
195	C		コウチュウ目	テントウムシ科	カメノコテントウ	<i>Aiolocaria hexaspilota</i>	C		
196	C	追加	コウチュウ目	カミキリムシ科	クスベニカミキリ	<i>Pyrestes nipponicus</i>			NT
197	C		コウチュウ目	ハムシ科	ガガブタネクイハムシ	<i>Donacia lenzi</i>	C		VU
198	C	追加	ハチ目	セイボウ科	オオセイボウ	<i>Stilbum cyanurum</i>		DD	
199	C	追加	ハチ目	アリ科	ケブカツヤオアリ	<i>Camponotus nipponensis</i>		DD	
200	C		ハチ目	スズメバチ科	クロスズメバチ	<i>Vespa flaviceps</i>	C		
201	C		ハチ目	クモバチ科	フタモンクモバチ	<i>Parabatozonus jankowskii</i>	C	NT	
202	C	追加	ハチ目	ハキリバチ科	マイマイツツハナバチ	<i>Osmia orientalis</i>		DD	
203	情報不足		トンボ目	イトトンボ科	ムスジイトトンボ	<i>Paracercion melanotum</i>	情報不足		
204	情報不足		トンボ目	カワトンボ科	ミヤマカワトンボ	<i>Calopteryx cornelia</i>	情報不足		
205	情報不足		トンボ目	サナエトンボ科	ホンサナエ	<i>Shaogomphus postocularis</i>	情報不足		VU
206	情報不足	↓	トンボ目	サナエトンボ科	タバサナエ	<i>Trigomphus citimus tabei</i>	C	NT	NT
207	情報不足		ゴキブリ目	オオゴキブリ科	オオゴキブリ	<i>Panesthia angustipennis spadica</i>	情報不足		
208	情報不足		ゴキブリ目	ゴキブリ科	ヤマトゴキブリ	<i>Periplaneta japonica</i>	情報不足		
209	情報不足		ゴキブリ目	チャバネゴキブリ科	クロモンチビゴキブリ	<i>Anaplecta japonica</i>	情報不足		DD
210	情報不足		ゴキブリ目	チャバネゴキブリ科	ツチゴキブリ	<i>Margattea kumamotoensis kumamotoensis</i>	情報不足		
211	情報不足		ゴキブリ目	チャバネゴキブリ科	ヒメクロゴキブリ	<i>Sorineuchora nigra</i>	情報不足		
212	情報不足	追加	カマキリ目	ヒメカマキリ科	サツマヒメカマキリ	<i>Acromantis satsumensis</i>			
213	情報不足	追加	ハサミムシ目	マルムネハサミムシ科	コヒゲジロハサミムシ	<i>Euborellia annulipes</i>			CR+EN
214	情報不足		バッタ目	ヒシバッタ科	ヒメヒシバッタ	<i>Tetrix minor</i>	情報不足		
215	情報不足		カメムシ目	キンカメムシ科	オオキンカメムシ	<i>Eucorysses grandis</i>	情報不足		
216	情報不足		トビケラ目	フトヒゲトビケラ科	フタスジキソトビケラ	<i>Psilotreta kisoensis</i>	情報不足		NT

昆虫類 (つづき)

No.	カテ ゴリ	前回からの 変更内容	目名	科名	種名	学名	旧カテ ゴリ	環境省 RL	大阪府 RL
217	情報不足		トビケラ目	トビケラ科	ツマグロトビケラ	<i>Phryganea japonica</i>	情報不足		DD
218	情報不足		チョウ目	スズメガ科	クロホウジャク	<i>Macroglossum saga</i>	情報不足		
219	情報不足		チョウ目	ヒトリガ科	ヤネホソバ	<i>Eilema fuscodorsalis</i>	情報不足	NT	
220	情報不足		コウチュウ目	オサムシ科	ダイミョウアトクリゴミムシ	<i>Cymindis daimio</i>	情報不足		DD
221	情報不足		コウチュウ目	オサムシ科	キノコゴミムシ	<i>Lioptera erytoides</i>	情報不足		
222	情報不足		コウチュウ目	ゲンゴロウ科	マルケシゲンゴロウ	<i>Hydrovatus subtilis</i>	情報不足	NT	DD
223	情報不足		コウチュウ目	ゲンゴロウ科	ヒメケシゲンゴロウ	<i>Hyphydrus laeiventris laeiventris</i>	情報不足	VU	
224	情報不足		コウチュウ目	コツブゲンゴロウ科	ムツボシツヤコツブゲンゴロウ	<i>Canthydrus politus</i>	情報不足	VU	DD
225	情報不足		コウチュウ目	ホソガムシ科	ヤマトホソガムシ	<i>Hydrochus japonicus</i>	情報不足	NT	DD
226	情報不足		コウチュウ目	ガムシ科	シジミガムシ	<i>Laccobius bedeli</i>	情報不足	EN	DD
227	情報不足		コウチュウ目	タマムシ科	クromaダラタマムシ	<i>Nipponobuprestis querceti</i>	情報不足		
228	情報不足	追加	コウチュウ目	コメツキムシ科	ツシマヒメサビキコリ	<i>Agrypnus tsushimensis tsushimensis</i>			NT
229	情報不足		コウチュウ目	コメツキムシ科	オオウバタマコメツキ	<i>Cryptalaus yamato</i>	情報不足		DD
230	情報不足		ハチ目	アリ科	トゲアリ	<i>Polyrhachis lamellidens</i>	情報不足	VU	
231	情報不足		ハチ目	スズメバチ科	ヤマトアシナガバチ	<i>Polistes japonicus</i>	情報不足	DD	
232	情報不足		ハチ目	スズメバチ科	モンズズメバチ	<i>Vespa crabro</i>	情報不足	DD	
233	情報不足		ハチ目	スズメバチ科	チャイロスズメバチ	<i>Vespa dybowskii</i>	情報不足		
234	情報不足		ハチ目	クモバチ科	スギハラクモバチ	<i>Leptodialepis sugiharai</i>	情報不足	DD	
235	情報不足		ハチ目	ドロバチモドキ科	キアシハナダカバチモドキ	<i>Stizus perrisi</i>	情報不足	VU	
236	情報不足		ハチ目	ミツバチ科	ナミルリモンハナバチ	<i>Thyreus decorus</i>	情報不足	DD	

※ 2015年版から種名の変更があったもの：ハンミョウ→ナミハンミョウ

クモ類

No.	カテ ゴリ	前回からの 変更内容	目名	科名	種名	学名	旧カテ ゴリ	環境省 RL	大阪府 RL
1	B	追加	クモ目	トタテグモ科	キノボリトタテグモ	<i>Conothele fragaria</i>		NT	NT
2	B		クモ目	トタテグモ科	キノノエトタテグモ	<i>Latouchia typica</i>	B	NT	NT
3	B		クモ目	ヒトエグモ科	ヒトエグモ	<i>Plator nipponicus</i>	B		NT
4	C		クモ目	シグモ科	ワスレナグモ	<i>Calommata signata</i>	C	NT	VU
5	C		クモ目	コガネグモ科	コガネグモ	<i>Argiope amoena</i>	C		NT
6	情報不足	追加	クモ目	コガネグモ科	ゲホウグモ	<i>Polys illepidus</i>			DD
7	情報不足		クモ目	カニグモ科	カトウツケオグモ	<i>Phrynarachne katoi</i>	情報不足		DD

陸産・淡水産甲殻類

No.	カテ ゴリ	前回からの 変更内容	綱名	目名	科名	種名	学名	旧カテ ゴリ	環境省 RL	大阪府 RL
1	C		軟甲綱	エビ目	ヌマエビ科	ミゾレヌマエビ	<i>Caridina leucosticta</i>	C		
2	C	追加	軟甲綱	エビ目	テナガエビ科	ヒラテテナガエビ	<i>Macrobrachium japonicum</i>			NT
3	C		軟甲綱	エビ目	サワガニ科	サワガニ	<i>Geothelphusa dehaani</i>	C		
4	情報不足		軟甲綱	エビ目	ヌマエビ科	ミナミヌマエビ	<i>Neocaridina denticulata</i>	情報不足		

海岸生物

No.	カテ ゴリ	分類	綱名	目名	科名	種名	学名	環境省 RL	大阪府 RL
1	絶滅	貝類	腹足綱	ニシキウズ目	ニシキウズ科	キサゴ	<i>Umbonium costatum</i>		
2	絶滅	貝類	腹足綱	ニシキウズ目	ニシキウズ科	ダンベイキサゴ	<i>Umbonium giganteum</i>		DD
3	絶滅	貝類	腹足綱	ニシキウズ目	アマオブネ科	ヒロクチカノコ	<i>Neripteron</i> sp.	NT	EX
4	絶滅	貝類	腹足綱	ニシキウズ目	ウミナナ科	ホソウミナナ	<i>Batillaria atramentaria</i>		CR+EN
5	絶滅	貝類	腹足綱	ニシキウズ目	ウミナナ科	イボウミナナ	<i>Batillaria zonalis</i>	VU	DD
6	絶滅	貝類	腹足綱	ニシキウズ目	トゲカワニナ科	タケノコカワニナ	<i>Stenomelania torulosa</i>	VU	CR+EN
7	絶滅	貝類	腹足綱	ニシキウズ目	イトカケガイ科	ウネナシイトカケ	<i>Acrilla acuminata</i>	VU	
8	絶滅	貝類	腹足綱	ニシキウズ目	イトカケガイ科	クレハガイ	<i>Epitonium clementinum</i>	NT	NT
9	絶滅	貝類	腹足綱	ニシキウズ目	イトカケガイ科	セキモリ	<i>Epitonium robillardii</i>	NT	NT
10	絶滅	貝類	腹足綱	ニシキウズ目	タマガイ科	ネコガイ	<i>Eunaticina papilla</i>	NT	NT
11	絶滅	貝類	腹足綱	ニシキウズ目	タマガイ科	フロガイダマシ	<i>Naticarius concinnus</i>	VU	
12	絶滅	貝類	腹足綱	新腹足目	オリイレヨフバイ科	ムシロガイ	<i>Nassarius livescens</i>	NT	NT
13	絶滅	貝類	腹足綱	新腹足目	オリイレヨフバイ科	ハナムシロ	<i>Nassarius multivocus</i>		
14	絶滅	貝類	腹足綱	新腹足目	オリイレヨフバイ科	ヒロオビヨフバイ	<i>Nassarius succinctus</i>	CR+EN	
15	絶滅	貝類	二枚貝綱	イガイ目	イガイ科	ハンレイヒバリ	<i>Modiolus hanleyi</i>	CR+EN	DD
16	絶滅	貝類	二枚貝綱	イガイ目	イガイ科	コケガラス	<i>Modiolus modularides</i>	NT	
17	絶滅	貝類	二枚貝綱	フネガイ目	フネガイ科	ハイガイ	<i>Tegillarca granosa</i>	VU	EX
18	絶滅	貝類	二枚貝綱	無面目	マテガイ科	オオマテ	<i>Solen grandis</i>		EX
19	絶滅	貝類	二枚貝綱	ザルガイ目	ニッコウガイ科	ユウシオガイ	<i>Jitlada culter</i>	NT	VU
20	絶滅	貝類	二枚貝綱	ザルガイ目	ニッコウガイ科	シラトリガイ	<i>Macoma nasuta</i>		EX
21	絶滅	貝類	二枚貝綱	ザルガイ目	ニッコウガイ科	サクラガイ	<i>Nitidotellina hokkaidoensis</i>	NT	NT
22	絶滅	貝類	二枚貝綱	ザルガイ目	ニッコウガイ科	アオサギ	<i>Psammacoma fallax</i>		EX
23	絶滅	貝類	二枚貝綱	ザルガイ目	ニッコウガイ科	サギガイ	<i>Rexithaerus sector</i>	NT	NT
24	絶滅	貝類	二枚貝綱	ザルガイ目	シオサザナミ科	オチバ	<i>Gari chinensis</i>	NT	EX

海岸生物 (つづき)

No.	カテゴリー	分類	綱名	目名	科名	種名	学名	環境省 RL	大阪府 RL
25	絶滅	貝類	二枚貝綱	ザルガイ目	シオサザナミ科	ムラサキガイ	<i>Hiatula adamsii</i>	VU	RL
26	絶滅	貝類	二枚貝綱	ザルガイ目	シオサザナミ科	フジナミ	<i>Hiatula boeddinghausi</i>	CR+EN	VU
27	絶滅	貝類	二枚貝綱	ザルガイ目	シオサザナミ科	イソシジミ	<i>Nuttallia japonica</i>		DD
28	絶滅	貝類	二枚貝綱	ザルガイ目	キヌタアゲマキ科	キヌタアゲマキ	<i>Solecurtus divaricatus</i>	NT	NT
29	絶滅	貝類	二枚貝綱	オオノガイ目	オオノガイ科	クシケマスオ	<i>Cryptomya elliptica</i>	NT	CR+EN
30	絶滅	貝類	二枚貝綱	オオノガイ目	オオノガイ科	ウミタケ	<i>Barnea japonica</i>	VU	DD
31	絶滅	貝類	二枚貝綱	オオノガイ目	バカガイ科	オオトリガイ	<i>Lutraria maxima</i>	NT	VU
32	絶滅	貝類	二枚貝綱	オオノガイ目	バカガイ科	シオフキ	<i>Maetra quadrangularis</i>		DD
33	絶滅	貝類	二枚貝綱	オオノガイ目	バカガイ科	ヤチヨノハナガイ	<i>Raeta pellicula</i>	CR+EN	DD
34	絶滅	貝類	二枚貝綱	マルスダレガイ目	マルスダレガイ科	オキシジミ	<i>Cyclina sinensis</i>		EX
35	絶滅	貝類	二枚貝綱	マルスダレガイ目	マルスダレガイ科	ハマグリ	<i>Meretrix lusoria</i>	VU	EX
36	絶滅	貝類	二枚貝綱	マルスダレガイ目	マルスダレガイ科	ガンギハマグリ	<i>Pitar lineolatus</i>	NT	
37	絶滅	甲殻類	軟甲綱	エビ目	コメツキガニ科	コメツキガニ	<i>Scopimera globosa</i>		NT
38	絶滅	その他無脊椎動物	ユムシ綱	ユムシ目	ユムシ科	ユムシ	<i>Urechis unicinctus</i>		
39	A	甲殻類	軟甲綱	ヨコエビ目	ユンボソコエビ科	オオサカドロソコエビ	<i>Grandidierella osakaensis</i>		CR+EN
40	A	甲殻類	軟甲綱	エビ目	モクスガニ科	タイワンヒライソモドキ	<i>Ptychognathus ishii</i>		VU
41	C	貝類	二枚貝綱	マルスダレガイ目	シジミ科	ヤマトシジミ	<i>Corbicula japonica</i>	NT	NT
42	C	甲殻類	軟甲綱	エビ目	コブシガニ科	マメコブシガニ	<i>Philyra pisum</i>		NT
43	C	藻類	紅藻綱	—	コノハノリ科	ホソアヤギヌ	<i>Caloglossa ogasawaraensis</i>	NT	NT

維管束植物

No.	カテゴリー	前回からの 変更内容	分類	科名	種名	学名	旧カテゴリー	環境省 RL	大阪府 RL
1	絶滅		シダ植物	サンショウモ科	オオアカウキクサ	<i>Azolla japonica</i>	絶滅	EN	EX
2	絶滅		シダ植物	サンショウモ科	アカウキクサ	<i>Azolla pinnata</i> subsp. <i>asiatica</i>	絶滅	EN	EX
3	絶滅		単子葉植物	オモダカ科	アギナシ	<i>Sagittaria aginashi</i>	絶滅	NT	CR+EN
4	絶滅		単子葉植物	ラン科	トキシソウ	<i>Pogonia japonica</i>	絶滅	NT	CR+EN
5	絶滅		単子葉植物	ツルボラン科	ユウスゲ*	<i>Hemerocallis citrina</i> var. <i>vespertina</i>	絶滅		CR+EN
6	絶滅		単子葉植物	クサスギカズラ科	ミズギボウシ	<i>Hosta longissima</i>	絶滅		VU
7	絶滅		単子葉植物	カヤツリグサ科	コウボウムギ	<i>Carex kobomugi</i>	絶滅		VU
8	絶滅		単子葉植物	カヤツリグサ科	コウボウシバ	<i>Carex pumila</i>	絶滅		
9	絶滅		単子葉植物	カヤツリグサ科	シオクグ	<i>Carex scabrifolia</i>	絶滅		NT
10	絶滅		単子葉植物	カヤツリグサ科	イソヤマテンツキ	<i>Fimbristylis sieboldii</i> var. <i>sieboldii</i>	絶滅		
11	絶滅		単子葉植物	カヤツリグサ科	アゼテンツキ	<i>Fimbristylis squarrosa</i>	絶滅		EX
12	絶滅		単子葉植物	カヤツリグサ科	サンカクイ	<i>Schoenoplectus triquetar</i>	絶滅		
13	絶滅		単子葉植物	イネ科	アイアシ	<i>Phacelurus latifolius</i>	絶滅		NT
14	絶滅		単子葉植物	イネ科	タキキビ	<i>Phaenosperma globosum</i>	絶滅		EX
15	絶滅		真正双子葉類	キンボウゲ科	ヒキノカサ	<i>Ranunculus extrorris</i> var. <i>extrorris</i>	絶滅	VU	CR+EN
16	絶滅		真正双子葉類	ハマビシ科	ハマビシ	<i>Tribulus terrestris</i>	絶滅	EN	CR+EN
17	絶滅		真正双子葉類	マメ科	タヌキマメ	<i>Crotalaria sessiliflora</i>	絶滅		VU
18	絶滅		真正双子葉類	マメ科	ハマエンドウ	<i>Lathyrus japonicus</i>	絶滅		NT
19	絶滅		真正双子葉類	マメ科	ミソナオシ	<i>Ohwia caudata</i>	絶滅		NT
20	絶滅		真正双子葉類	マメ科	クサフジ	<i>Vicia cracca</i>	絶滅		
21	絶滅	追加	真正双子葉類	バラ科	カワラサイコ	<i>Potentilla chinensis</i>			EX
22	絶滅		真正双子葉類	カバノキ科	カワラハンノキ	<i>Alnus serrulatoidea</i>	絶滅		
23	絶滅		真正双子葉類	アブラナ科	タチスズシロソウ	<i>Arabidopsis kamchatica</i> subsp. <i>kawasakiana</i>	絶滅	EN	EX
24	絶滅		真正双子葉類	アブラナ科	ハタザオ	<i>Turritis glabra</i>	絶滅		
25	絶滅		真正双子葉類	タデ科	ニオイタデ	<i>Persicaria viscosa</i>	絶滅		
26	絶滅		真正双子葉類	タデ科	アキノミチヤナギ	<i>Polygonum polyneuron</i>	絶滅		
27	絶滅		真正双子葉類	ヒコ科	カワラアカザ	<i>Chenopodium acuminatum</i> var. <i>vachelii</i>	絶滅		
28	絶滅		真正双子葉類	ヤマゴボウ科	ヤマゴボウ	<i>Phytolacca acinosa</i>	絶滅		
29	絶滅		真正双子葉類	ハイノキ科	サワフタギ	<i>Symplocos sawafutagi</i>	絶滅		
30	絶滅		真正双子葉類	キョウチクトウ科	ケテイカカズラ	<i>Trachelospermum jasminoides</i> var. <i>pubescens</i>	絶滅		
31	絶滅		真正双子葉類	ヒルガオ科	ハマネナシカズラ	<i>Cuscuta chinensis</i>	絶滅	VU	EX
32	絶滅		真正双子葉類	オオハコ科	ウンラン	<i>Linaria japonica</i>	絶滅		EX
33	絶滅		真正双子葉類	シソ科	ミズトラノオ	<i>Pogostemon yatabeanus</i>	絶滅	VU	EX
34	絶滅		真正双子葉類	シソ科	ナミキソウ	<i>Scutellaria strigillosa</i>	絶滅		EX
35	絶滅		真正双子葉類	シソ科	ハマゴウ	<i>Vitex rotundifolia</i>	絶滅		VU
36	絶滅		真正双子葉類	ハマウツボ科	ハマウツボ	<i>Orobanche coerulescens</i>	絶滅	VU	EX
37	絶滅		真正双子葉類	ミツガシワ科	アサザ	<i>Nymphoides peltata</i>	絶滅	NT	DD
38	絶滅		真正双子葉類	キク科	タウコギ	<i>Bidens tripartita</i>	絶滅		
39	絶滅		真正双子葉類	キク科	カセンソウ	<i>Inula salicina</i> var. <i>asiatica</i>	絶滅		EX
40	絶滅		真正双子葉類	キク科	ホソバニガナ	<i>Ixeridium beauverdianum</i>	絶滅	EN	EX
41	絶滅		真正双子葉類	セリ科	ハマゼリ	<i>Cnidium japonicum</i>	絶滅		
42	絶滅		真正双子葉類	セリ科	ハマボウフウ	<i>Glehnia littoralis</i>	絶滅		CR+EN
43	A		シダ植物	ミズニラ科	ミズニラ	<i>Isoetes japonica</i>	A	NT	CR+EN
44	A		シダ植物	ハナヤスリ科	アカハナワラビ	<i>Botrychium nipponicum</i>	A		CR+EN
45	A		シダ植物	サンショウモ科	サンショウモ	<i>Salvinia natans</i>	A	VU	CR+EN
46	A	↑	シダ植物	キジノオシダ科	タカサゴキジノオ	<i>Plagiogyria adnata</i> var. <i>adnata</i>	B		
47	A	↑	シダ植物	メシダ科	ナチシケシダ	<i>Deparia petersenii</i> var. <i>petersenii</i>	B		
48	A	↑	シダ植物	メシダ科	ムサシシケシダ	<i>Deparia</i> × <i>musashiensis</i>	B		

維管束植物 (つづき)

No.	カテゴリー	前回からの 変更内容	分類	科名	種名	学名	旧カテゴリー	環境省 RL	大阪府 RL
49	A	↓	シダ植物	シノブ科	シノブ	<i>Davallia mariesii</i>	絶滅		
50	A		基部被子植物群	スイレン科	オニバス	<i>Euryale ferox</i>	A	VU	VU
51	A		基部被子植物群	スイレン科	ヒツジグサ	<i>Nymphaea tetragona</i> var. <i>tetragona</i>	A		NT
52	A		基部被子植物群	ウマノスズクサ科	オオバウマノスズクサ	<i>Aristolochia kaempferi</i>	A		
53	A		単子葉植物	オモダカ科	マルバオモダカ	<i>Caldesia parnassifolia</i>	A	VU	CR+EN
54	A		単子葉植物	トチカガミ科	ヤナギスブタ	<i>Blyxa japonica</i>	A		CR+EN
55	A		単子葉植物	トチカガミ科	イトトリゲモ	<i>Najas gracillima</i>	A	NT	VU
56	A		単子葉植物	トチカガミ科	ホッスモ	<i>Najas graminea</i>	A		
57	A		単子葉植物	トチカガミ科	オオトリゲモ	<i>Najas oguraensis</i>	A		CR+EN
58	A		単子葉植物	トチカガミ科	ミスオオバコ	<i>Otelia alismoides</i>	A	VU	NT
59	A		単子葉植物	ヒルムシロ科	ホソバミスヒキモ	<i>Potamogeton octandrus</i>	A		
60	A		単子葉植物	ラン科	エビネ	<i>Calanthe discolor</i>	A	NT	NT
61	A		単子葉植物	ラン科	ナツエビネ	<i>Calanthe puberula</i>	A	VU	
62	A		単子葉植物	ラン科	ギンラン	<i>Cephalanthera erecta</i>	A		VU
63	A		単子葉植物	ラン科	キンラン	<i>Cephalanthera falcata</i>	A	VU	VU
64	A		単子葉植物	ラン科	サイハイラン	<i>Cremastra variabilis</i>	A		
65	A		単子葉植物	ラン科	シガバチソウ	<i>Liparis krameri</i>	A		CR+EN
66	A		単子葉植物	ラン科	クモキリソウ	<i>Liparis kumokiri</i>	A		
67	A		単子葉植物	ラン科	サギソウ	<i>Pecteilis radiata</i>	A	NT	VU
68	A		単子葉植物	ラン科	オオバノトンボソウ	<i>Platanthera minor</i>	A		
69	A		単子葉植物	アヤメ科	ノハナショウブ	<i>Iris ensata</i> var. <i>spontanea</i>	A		CR+EN
70	A		単子葉植物	ツルボラン科	ノカンソウ	<i>Hemerocallis fulva</i> var. <i>disticha</i>	A		VU
71	A		単子葉植物	ガマ科	オオミクリ	<i>Sparganium erectum</i> var. <i>macrocarpum</i>	A	VU	CR+EN
72	A		単子葉植物	ガマ科	ヤマトミクリ	<i>Sparganium fallax</i>	A	NT	VU
73	A		単子葉植物	ガマ科	ヒメミクリ	<i>Sparganium subglobosum</i>	A	VU	CR+EN
74	A	↑	単子葉植物	ホシクサ科	オオホシクサ	<i>Eriocaulon buergerianum</i>	B		
75	A		単子葉植物	カヤツリグサ科	セイタカハリイ	<i>Eleocharis attenuata</i>	A		VU
76	A		単子葉植物	カヤツリグサ科	イガクサ	<i>Rhynchospora rubra</i>	A		CR+EN
77	A	↑	単子葉植物	カヤツリグサ科	ヒメホタルイ	<i>Schoenoplectiella lineolata</i>	B		
78	A		単子葉植物	カヤツリグサ科	フトイ	<i>Schoenoplectus tabernaemontani</i>	A		VU
79	A		単子葉植物	カヤツリグサ科	ノグサ	<i>Schoenus apogon</i>	A		CR+EN
80	A		単子葉植物	カヤツリグサ科	コシンジュガヤ	<i>Scleria parvula</i>	A		VU
81	A		単子葉植物	イネ科	ヌマカゼクサ	<i>Eragrostis aquatica</i>	A		VU
82	A		単子葉植物	イネ科	ヒロハノドジョウツナギ	<i>Glyceria leptolepis</i>	A		
83	A	↑	単子葉植物	イネ科	ミノボロ	<i>Koeleria macrantha</i>	B		VU
84	A		単子葉植物	イネ科	スズメノコピエ	<i>Paspalum scrobiculatum</i> var. <i>orbiculare</i>	A		VU
85	A		単子葉植物	イネ科	ウキシバ	<i>Pseudoraphis sordida</i>	A		NT
86	A		真正双子葉類	アワブキ科	ヤマビワ	<i>Meliosma rigida</i>	A		
87	A		真正双子葉類	ベンケイソウ科	ツメレンゲ	<i>Orostachys japonica</i>	A	NT	NT
88	A		真正双子葉類	アリノトウグサ科	オグラノフサモ	<i>Myriophyllum oguraense</i>	A	VU	CR+EN
89	A		真正双子葉類	マメ科	イヌハギ	<i>Lespedeza tomentosa</i>	A	VU	CR+EN
90	A		真正双子葉類	マメ科	マキエハギ	<i>Lespedeza virgata</i>	A		CR+EN
91	A	↓	真正双子葉類	クルミ科	オニグルミ	<i>Juglans mandshurica</i> var. <i>sachalinensis</i>	絶滅		
92	A		真正双子葉類	オトギリソウ科	アゼオトギリ	<i>Hypericum oliganthum</i>	A	EN	CR+EN
93	A	↑	真正双子葉類	オトギリソウ科	ミスオトギリ	<i>Triadenum japonicum</i>	B		NT
94	A		真正双子葉類	ミソハギ科	ミズマツバ	<i>Rotala mexicana</i>	A	VU	NT
95	A	↑	真正双子葉類	アブラナ科	イヌナズナ	<i>Draba nemorosa</i>	B		
96	A		真正双子葉類	アブラナ科	コイヌガラシ	<i>Rorippa cantoniensis</i>	A	NT	NT
97	A		真正双子葉類	イソマツ科	ハマサジ	<i>Limonium tetragonum</i>	A	NT	CR+EN
98	A		真正双子葉類	タデ科	サイコクヌカボ	<i>Persicaria foliosa</i> var. <i>nikaii</i>	A	VU	CR+EN
99	A		真正双子葉類	タデ科	ナガバノウナギツカミ	<i>Persicaria hastatosagittata</i>	A	NT	VU
100	A		真正双子葉類	タデ科	サデクサ	<i>Persicaria maackiana</i>	A		NT
101	A		真正双子葉類	モウセンゴケ科	イシモチソウ	<i>Drosera peltata</i> var. <i>nipponica</i>	A	NT	VU
102	A		真正双子葉類	モウセンゴケ科	モウセンゴケ	<i>Drosera rotundifolia</i>	A		NT
103	A		真正双子葉類	モウセンゴケ科	コモウセンゴケ	<i>Drosera spatulata</i>	A		NT
104	A	↓	真正双子葉類	ヒユ科	オカヒジキ	<i>Salsola komarovii</i>	絶滅		
105	A		真正双子葉類	サクラソウ科	タイミンタチバナ	<i>Myrsine seguinii</i>	A		
106	A		真正双子葉類	ハイノキ科	クロミノニシゴリ	<i>Symplocos paniculata</i>	A		CR+EN
107	A		真正双子葉類	アカネ科	カギカズラ	<i>Uncaria rhynchophylla</i>	A		
108	A		真正双子葉類	リンドウ科	イヌセンブリ	<i>Swertia tosaensis</i>	A	VU	VU
109	A		真正双子葉類	キョウチクトウ科	タチカモメツル	<i>Vincetoxicum glabrum</i>	A		VU
110	A		真正双子葉類	キョウチクトウ科	スズサイコ	<i>Vincetoxicum pycnostelma</i>	A	NT	VU
111	A		真正双子葉類	オオバコ科	イヌノフグリ	<i>Veronica polita</i>	A	VU	
112	A		真正双子葉類	タヌキモ科	ノタヌキモ	<i>Utricularia aurea</i>	A	VU	
113	A		真正双子葉類	タヌキモ科	ホザキノミミカキグサ	<i>Utricularia caerulea</i>	A		
114	A		真正双子葉類	ハマウツボ科	ゴマクサ	<i>Centranthera cochinchinensis</i> var. <i>lutea</i>	A	VU	CR+EN
115	A		真正双子葉類	ハマウツボ科	ヒキヨモギ	<i>Siphonostegia chinensis</i>	A		CR+EN
116	A		真正双子葉類	ハマウツボ科	オオヒキヨモギ	<i>Siphonostegia laeta</i>	A	VU	NT
117	A		真正双子葉類	キキョウ科	キキョウ	<i>Platycodon grandiflorus</i>	A	VU	VU
118	A		真正双子葉類	ミツガシワ科	ガガブタ	<i>Nymphoides indica</i>	A	NT	CR+EN
119	A		真正双子葉類	キク科	スイラン	<i>Hololeion krameri</i>	A		NT
120	A		真正双子葉類	キク科	オグルマ	<i>Inula britannica</i> subsp. <i>japonica</i>	A		CR+EN

維管束植物 (つづき)

No.	カテゴリー	前回からの 変更内容	分類	科名	種名	学名	旧カテゴリー	環境省 RL	大阪府 RL
121	A		真正双子葉類	セリ科	ムカゴニンジン	<i>Sium ninsi</i>	A		NT
122	B		シダ植物	ヒカゲノカズラ科	ミズスギ	<i>Lycopodiella cernua</i>	B		
123	B		シダ植物	ヒカゲノカズラ科	ヒカゲノカズラ	<i>Lycopodium clavatum</i> var. <i>nipponicum</i>	B		
124	B		シダ植物	トクサ科	イヌドクサ	<i>Equisetum ramosissimum</i> subsp. <i>ramosissimum</i>	B		
125	B		シダ植物	マツバラン科	マツバラン	<i>Psilotum nudum</i>	B	NT	CR+EN
126	B		シダ植物	ハナヤスリ科	コヒロハハナヤスリ	<i>Ophioglossum petiolatum</i>	B		
127	B	追加	シダ植物	イノモトソウ科	ヒメミズワラビ	<i>Ceratopteris gaudichaudii</i> var. <i>vulgaris</i>			NT
128	B		シダ植物	イノモトソウ科	オオバノハチジョウシダ	<i>Pteris terminalis</i> var. <i>terminalis</i>	B		
129	B		シダ植物	メシダ科	ウラボシノコギリシダ	<i>Anisocampium sheareri</i>	B		
130	B		シダ植物	メシダ科	ミヤマノコギリシダ	<i>Diplazium mettenianum</i>	B		
131	B		シダ植物	オシダ科	ツヤナシノデ	<i>Polystichum ovatopaleaceum</i> var. <i>ovatopaleaceum</i>	B		
132	B		基部被子植物群	ジュンサイ科	ジュンサイ	<i>Brasenia schreberi</i>	B		
133	B		単子葉植物	ヒルムシロ科	ヒルムシロ	<i>Potamogeton distinctus</i>	B		
134	B		単子葉植物	ヒルムシロ科	フトヒルムシロ	<i>Potamogeton fryeri</i>	B		
135	B		単子葉植物	ヒルムシロ科	アイノコイトモ	<i>Potamogeton</i> × <i>orientalis</i>	B		
136	B		単子葉植物	ユリ科	セトウチホトトギス	<i>Tricyrtis setouchiensis</i>	B		NT
137	B		単子葉植物	ラン科	カキラン	<i>Epipactis thunbergii</i>	B		
138	B		単子葉植物	ラン科	アケボノシュスラン	<i>Goodyera foliosa</i> var. <i>laevis</i>	B		
139	B		単子葉植物	ラン科	ミヤマウスラ	<i>Goodyera schlechtendaliana</i>	B		
140	B		単子葉植物	ガマ科	コガマ	<i>Typha orientalis</i>	B		NT
141	B		単子葉植物	カヤツリグサ科	ウキヤガラ	<i>Bolboschoenus ftuviatilis</i> subsp. <i>yagara</i>	B		
142	B		単子葉植物	カヤツリグサ科	アイダクグ	<i>Cyperus brevifolius</i> var. <i>brevifolius</i>	B		
143	B		単子葉植物	カヤツリグサ科	オオシロガヤツリ	<i>Cyperus nipponicus</i> var. <i>spiralis</i>	B		NT
144	B		単子葉植物	イネ科	オガルカヤ	<i>Cymbopogon tortilis</i> var. <i>goeringii</i>	B		
145	B		単子葉植物	イネ科	カリマタガヤ	<i>Dimeria ornithopoda</i> var. <i>tenera</i>	B		
146	B		単子葉植物	イネ科	カモノハシ	<i>Ischaemum aristatum</i> var. <i>crassipes</i>	B		
147	B		単子葉植物	イネ科	アシカキ	<i>Leersia japonica</i>	B		
148	B		真正双子葉類	マメ科	カワラケツメイ	<i>Chamaecrista nomame</i>	B		NT
149	B	↑	真正双子葉類	ジンチョウゲ科	コガンビ	<i>Diplomorpha ganpi</i>	C		
150	B	↑	真正双子葉類	オオバヤドリギ科	マツグミ	<i>Taxillus kaempferi</i> var. <i>kaempferi</i>	C		
151	B		真正双子葉類	タデ科	コギシギシ	<i>Rumex dentatus</i> subsp. <i>klotzschianus</i>	B	VU	NT
152	B		真正双子葉類	ナデシコ科	カワラナデシコ	<i>Dianthus superbus</i> var. <i>longicalycinus</i>	B		
153	B		真正双子葉類	ツツジ科	シャクジョウソウ	<i>Hypopithys monotropa</i>	B		NT
154	B		真正双子葉類	アカネ科	コバノニセジュズネノキ	<i>Damnacanthus minutispinus</i>	B		
155	B		真正双子葉類	リンドウ科	リンドウ	<i>Gentiana scabra</i> var. <i>buergeri</i>	B		
156	B		真正双子葉類	リンドウ科	センブリ	<i>Swertia japonica</i> var. <i>japonica</i>	B		
157	B		真正双子葉類	キク科	オトコヨモギ	<i>Artemisia japonica</i> subsp. <i>japonica</i> var. <i>japonica</i>	B		
158	B		真正双子葉類	キク科	リュウノウギク	<i>Chrysanthemum makinoi</i>	B		
159	B		真正双子葉類	キク科	タムラソウ	<i>Serratula coronata</i> subsp. <i>insularis</i>	B		
160	B		真正双子葉類	スイカズラ科	オミナエシ	<i>Patrinia scabiosifolia</i>	B		NT
161	C		シダ植物	イワヒバ科	ヒメクラマゴケ	<i>Selaginella heterostachys</i>	C		
162	C		シダ植物	ハナヤスリ科	オオハナワラビ	<i>Botrychium japonicum</i>	C		
163	C		シダ植物	コウヤワラビ科	クサソテツ	<i>Oncoclea struthiopteris</i>	C		
164	C		シダ植物	メシダ科	サトメシダ	<i>Athyrium deltoideifrons</i>	C		
165	C		シダ植物	メシダ科	トガリバイヌワラビ	<i>Athyrium iseanum</i> var. <i>angustisectum</i>	C		
166	C		シダ植物	オシダ科	コバノカナワラビ	<i>Arachniodes sporadosora</i>	C		
167	C		シダ植物	オシダ科	イワヘゴ	<i>Dryopteris atrata</i>	C		
168	C		シダ植物	オシダ科	エンシュウベニシダ	<i>Dryopteris medioxima</i>	C		
169	C		シダ植物	オシダ科	カタイノデ	<i>Polystichum makinoi</i>	C		
170	C		シダ植物	オシダ科	サカゲイノデ	<i>Polystichum retrosopaleaceum</i>	C		
171	C		シダ植物	オシダ科	ジュウモンジシダ	<i>Polystichum tripterum</i>	C		
172	C		シダ植物	オシダ科	ドウリョウイノデ	<i>Polystichum</i> × <i>anceps</i>	C		
173	C		基部被子植物群	ウマノスズクサ科	ウマノスズクサ	<i>Aristolochia debilis</i>	C		
174	C		基部被子植物群	モクレン科	ホオノキ	<i>Magnolia obovata</i>	C		
175	C		単子葉植物	サトイモ科	キシダマムシグサ	<i>Arisaema kishidae</i>	C		
176	C		単子葉植物	サトイモ科	ウラシマソウ	<i>Arisaema thunbergii</i> subsp. <i>urashima</i>	C		
177	C		単子葉植物	オモダカ科	ハラオモダカ	<i>Alisma canaliculatum</i>	C		
178	C		単子葉植物	トチカガミ科	クロモ	<i>Hydrilla verticillata</i>	C		
179	C		単子葉植物	シュロソウ科	ショウジョウバカマ	<i>Heloniopsis orientalis</i>	C		
180	C		単子葉植物	イヌサフラン科	ホウチャクソウ	<i>Disporum sessile</i> var. <i>sessile</i>	C		
181	C		単子葉植物	サルトリイバラ科	タチシオデ	<i>Smilax nipponica</i>	C		
182	C		単子葉植物	ユリ科	ササユリ	<i>Lilium japonicum</i>	C		
183	C	↑	単子葉植物	ラン科	タシロラン	<i>Epipogium roseum</i>	情報不足	NT	
184	C	追加	単子葉植物	アヤメ科	アヤメ	<i>Iris sanguinea</i>			DD
185	C		単子葉植物	ショウガ科	ハナミョウガ	<i>Alpinia japonica</i>	C		
186	C		単子葉植物	イグサ科	ヒロハノコウガイゼキ ショウ	<i>Juncus diastrophanthus</i>	C		
187	C		単子葉植物	カヤツリグサ科	ハタガヤ	<i>Bulbostylis barbata</i>	C		
188	C		単子葉植物	カヤツリグサ科	シロイトスゲ*	<i>Carex alterniflora</i> var. <i>alterniflora</i>	C		

維管束植物 (つづき)

No.	カテゴリー	前回からの 変更内容	分類	科名	種名	学名	旧カテゴリー	環境省 RL	大阪府 RL
189	C		単子葉植物	カヤツリグサ科	エナシヒゴクサ	<i>Carex aphanolepis</i>	C		
190	C		単子葉植物	カヤツリグサ科	ハリガネスゲ	<i>Carex capillacea</i> var. <i>capillacea</i>	C		
191	C		単子葉植物	カヤツリグサ科	ヒゴクサ	<i>Carex japonica</i>	C		
192	C		単子葉植物	カヤツリグサ科	ヒメシラスゲ	<i>Carex mollicula</i>	C		
193	C		単子葉植物	カヤツリグサ科	ミコシガヤ	<i>Carex neurocarpa</i>	C		NT
194	C		単子葉植物	カヤツリグサ科	オタルスゲ	<i>Carex otariensis</i>	C		
195	C		単子葉植物	カヤツリグサ科	ササノハスゲ	<i>Carex pachygyna</i>	C		
196	C		単子葉植物	カヤツリグサ科	ヒメモエギスゲ	<i>Carex pocilliformis</i>	C		
197	C		単子葉植物	カヤツリグサ科	タガネソウ	<i>Carex siderosticta</i>	C		
198	C		単子葉植物	カヤツリグサ科	ヤワラスゲ	<i>Carex transversa</i>	C		
199	C		単子葉植物	カヤツリグサ科	ヒナガヤツリ	<i>Cyperus flaccidus</i>	C		
200	C		単子葉植物	カヤツリグサ科	ヌマガヤツリ	<i>Cyperus glomeratus</i>	C		
201	C		単子葉植物	カヤツリグサ科	シカクイ	<i>Eleocharis wichurae</i>	C		
202	C		単子葉植物	カヤツリグサ科	ヒメヒラテンツキ	<i>Fimbristylis autumnalis</i>	C		
203	C		単子葉植物	カヤツリグサ科	クロテンツキ	<i>Fimbristylis diphyllodes</i>	C		
204	C		単子葉植物	カヤツリグサ科	コイヌノハナヒゲ	<i>Rhynchospora fujiana</i>	C		
205	C		単子葉植物	カヤツリグサ科	イヌホタルイ	<i>Schoenoplectiella juncooides</i>	C		
206	C		単子葉植物	カヤツリグサ科	エゾアブラガヤ*	<i>Scirpus asiaticus</i>	C		
207	C		単子葉植物	イネ科	ダンチク	<i>Arundo donax</i>	C		
208	C	追加	単子葉植物	イネ科	ヒメウキガヤ	<i>Glyceria depauperata</i> var. <i>depauperata</i>			
209	C		単子葉植物	イネ科	ハイチゴザサ	<i>Isachne nipponensis</i>	C		
210	C		単子葉植物	イネ科	エソノサヤヌカグサ	<i>Leersia oryzoides</i>	C		
211	C		単子葉植物	イネ科	マコモ	<i>Zizania latifolia</i>	C		
212	C		真正双子葉類	マツモ科	マツモ	<i>Ceratophyllum demersum</i>	C		
213	C		真正双子葉類	メギ科	メギ	<i>Berberis thunbergii</i>	C		NT
214	C		真正双子葉類	ユキノシタ科	チャルメルソウ	<i>Mitella furusei</i> var. <i>subramosa</i>	C		
215	C		真正双子葉類	マメ科	フジカンソウ	<i>Hylodesmum oldhamii</i>	C		
216	C		真正双子葉類	マメ科	クララ	<i>Sophora flavescens</i>	C		
217	C	↑	真正双子葉類	バラ科	クサボケ	<i>Chaenomeles japonica</i>	情報不足		
218	C		真正双子葉類	バラ科	ミツバツチグリ	<i>Potentilla freyniana</i>	C		
219	C		真正双子葉類	バラ科	ヤブイバラ*	<i>Rosa onoei</i> var. <i>onoei</i>	C		
220	C		真正双子葉類	バラ科	ワレモコウ	<i>Sanguisorba officinalis</i>	C		
221	C		真正双子葉類	バラ科	ナンキンナナカマド	<i>Sorbus gracilis</i>	C		
222	C		真正双子葉類	クロウメモドキ科	クマヤナギ	<i>Berberis racemosa</i> var. <i>racemosa</i>	C		
223	C		真正双子葉類	イラクサ科	ウツバミソウ	<i>Elatostema involucreatum</i>	C		
224	C		真正双子葉類	イラクサ科	オオサンショウソウ	<i>Pellionia radicans</i>	C		
225	C		真正双子葉類	ブナ科	ウラジロガシ	<i>Quercus salicina</i>	C		
226	C		真正双子葉類	ブナ科	ツクバネガシ	<i>Quercus sessilifolia</i>	C		
227	C		真正双子葉類	カバノキ科	アカシデ	<i>Carpinus laxiflora</i>	C		
228	C		真正双子葉類	ウリ科	ゴキツル	<i>Actinostemma tenerum</i>	C		
229	C		真正双子葉類	ウリ科	アマチャヅル	<i>Gynostemma pentaphyllum</i> var. <i>pentaphyllum</i>	C		
230	C		真正双子葉類	ウリ科	キカラスウリ	<i>Trichosanthes kirilowii</i> var. <i>japonica</i>	C		
231	C		真正双子葉類	ニシキギ科	ツリバナ	<i>Euonymus oxyphyllus</i>	C		
232	C		真正双子葉類	スミレ科	アギスミレ	<i>Viola verecunda</i> var. <i>semilunaris</i>	C		
233	C		真正双子葉類	ヤナギ科	バッコヤナギ	<i>Salix caprea</i>	C		NT
234	C		真正双子葉類	ヤナギ科	ヨシノヤナギ	<i>Salix yoshinoi</i>	C		
235	C		真正双子葉類	アカバナ科	アカバナ	<i>Epilobium pyrricholophum</i>	C		
236	C		真正双子葉類	ビャクダン科	ヒノキバヤドリギ	<i>Korthalsella japonica</i>	C		
237	C		真正双子葉類	タデ科	タニソバ	<i>Persicaria nepalensis</i>	C		
238	C	追加	真正双子葉類	ヒユ科	ホソバハマアカザ	<i>Atriplex patens</i>			NT
239	C		真正双子葉類	ハマミズナ科	ツルナ	<i>Tetragonia tetragonoides</i>	C		
240	C		真正双子葉類	ツリフネソウ科	ツリフネソウ	<i>Impatiens textorii</i>	C		
241	C		真正双子葉類	サクラソウ科	カラタチバナ	<i>Ardisia crispa</i> var. <i>crispa</i>	C		
242	C		真正双子葉類	ハイノキ科	ミズズバイ	<i>Symplocos glauca</i>	C		
243	C		真正双子葉類	ツツジ科	イチヤクソウ	<i>Pyrola japonica</i> var. <i>japonica</i>	C		
244	C		真正双子葉類	ツツジ科	ミヤコツツジ	<i>Rhododendron × tectum</i>	C		
245	C		真正双子葉類	キョウチクトウ科	コカモメヅル	<i>Vincetoxicum floribundum</i>	C		
246	C		真正双子葉類	ヒルガオ科	ハマヒルガオ	<i>Calystegia soldanella</i>	C		
247	C		真正双子葉類	オオバコ科	サフトウガラシ	<i>Deinostema violaceum</i>	C		
248	C		真正双子葉類	オオバコ科	キクモ	<i>Limnophila sessiliflora</i>	C		
249	C		真正双子葉類	オオバコ科	カワヂシャ	<i>Veronica undulata</i>	C	NT	NT
250	C		真正双子葉類	タヌキモ科	イヌタヌキモ	<i>Utricularia australis</i>	C	NT	NT
251	C	↑	真正双子葉類	シソ科	イガタツナミ*	<i>Scutellaria laeteviolacea</i> var. <i>kurokawae</i>	情報不足		
252	C		真正双子葉類	シソ科	ホナガタツナミソウ	<i>Scutellaria laeteviolacea</i> var. <i>maekawae</i>	C		
253	C		真正双子葉類	ハマウツボ科	ナンバンギセル	<i>Aeginetia indica</i>	C		
254	C		真正双子葉類	ハマウツボ科	クチナシグサ	<i>Monochasma sheareri</i>	C		
255	C		真正双子葉類	ハナイカダ科	ハナイカダ	<i>Helwingia japonica</i> subsp. <i>japonica</i> var. <i>japonica</i>	C		
256	C		真正双子葉類	キキョウ科	ツリガネニンジン	<i>Adenophora triphylla</i> var. <i>japonica</i>	C		
257	C		真正双子葉類	キキョウ科	ツルニンジン	<i>Codonopsis lanceolata</i>	C		
258	C		真正双子葉類	キキョウ科	タニギキョウ	<i>Peracarpa carnososa</i>	C		
259	C		真正双子葉類	キク科	キセルアザミ*	<i>Cirsium sieboldii</i>	C		
260	C		真正双子葉類	キク科	ヤクシソウ	<i>Crepidiastrium denticulatum</i>	C		

維管束植物 (つづき)

No.	カテ ゴリー	前回からの 変更内容	分類	科名	種名	学名	旧カテ ゴリー	環境省 RL	大阪府 RL
261	C		真正双子葉類	キク科	ノニガナ	<i>Ixeris polycephala</i>	C		
262	C		真正双子葉類	キク科	センボンヤリ	<i>Leibnitzia anandria</i>	C		
263	C		真正双子葉類	キク科	アキノキリンソウ	<i>Solidago virgaurea</i> subsp. <i>asiatica</i> var. <i>asiatica</i>	C		
264	C		真正双子葉類	スイカズラ科	ミヤマウグイスカグラ	<i>Lonicera gracilipes</i> var. <i>glandulosa</i>	C		
265	C		真正双子葉類	スイカズラ科	オトコエシ	<i>Patrinia villosa</i>	C		
266	C		真正双子葉類	ウコギ科	ウド	<i>Aralia cordata</i>	C		
267	C		真正双子葉類	ウコギ科	ウラゲウコギ	<i>Eleutherococcus spinosus</i> var. <i>nikaianus</i>	C		
268	C		真正双子葉類	ウコギ科	ヒメチドメ	<i>Hydrocotyle yabei</i>	C		
269	情報不足		単子葉植物	クサスギカズラ科	コバギボウシ	<i>Hosta sieboldii</i>	情報不足		
270	情報不足		単子葉植物	クサスギカズラ科	アマドコロ	<i>Polygonatum odoratum</i> var. <i>pluriflorum</i>	情報不足		
271	情報不足		単子葉植物	カヤツリグサ科	ヤマアゼスゲ	<i>Carex heterolepis</i>	情報不足		
272	情報不足		単子葉植物	カヤツリグサ科	カンスゲ	<i>Carex morrowii</i> var. <i>morrowii</i>	情報不足		
273	情報不足		単子葉植物	カヤツリグサ科	シバスゲ	<i>Carex nervata</i>	情報不足		
274	情報不足	追加	単子葉植物	カヤツリグサ科	シロガヤツリ	<i>Cyperus pacificus</i>			DD
275	情報不足		真正双子葉類	スミレ科	コタチツボスミレ	<i>Viola grypoceras</i> var. <i>exilis</i>	情報不足		
276	情報不足		真正双子葉類	タデ科	ママコノシリヌグイ	<i>Persicaria senticosa</i>	情報不足		
277	情報不足		真正双子葉類	ナデシコ科	ツメクサ	<i>Sagina japonica</i>	情報不足		
278	情報不足		真正双子葉類	ヒルガオ科	ネナシカズラ	<i>Cuscuta japonica</i>	情報不足		
279	情報不足		真正双子葉類	オオバコ科	アワゴケ	<i>Callitriche japonica</i>	情報不足		
280	情報不足		真正双子葉類	シソ科	イヌトウバナ	<i>Clinopodium micranthum</i> var. <i>micranthum</i>	情報不足		
281	情報不足	↓	真正双子葉類	キク科	ウラギク	<i>Triplolium pannonicum</i>	情報不足	NT	NT

※ 2015年版から種名の変更があったもの：キスゲ→ユウスゲ、オオイトスゲ→シロイトスゲ、ヒゲアブラガヤ→エソアブラガヤ、ニオイバラ→ヤブイバラ、イガタツナミソウ→イガタツナミ、マアザミ→キセルアザミ

蘚苔類

No.	カテ ゴリー	前回からの 変更内容	分類	科名	種名	学名	旧カテ ゴリー	環境省 RL	大阪府 RL
1	A		蘚苔類(蘚類)	ミズゴケ科	オオミズゴケ	<i>Sphagnum palustre</i>	A		VU
2	A	追加	蘚苔類(蘚類)	ホウオウゴケ科	ジョウレンホウオウゴケ	<i>Fissidens geppii</i>		VU	CR+EN
3	A		蘚苔類(蘚類)	シッポゴケ科	イヨスキゴケ	<i>Dicranella gonoii</i>	A		
4	A		蘚苔類(蘚類)	タマゴケ科	ナガバサワゴケ	<i>Philonotis lancifolia</i>	A		CR+EN
5	A		蘚苔類(蘚類)	アオギヌゴケ科	ヒロハフサゴケ	<i>Brachythecium salebrosum</i>	A		CR+EN
6	A		蘚苔類(苔類)	ウキゴケ科	ウキゴケ	<i>Riccia fluitans</i>	A		VU
7	B		蘚苔類(蘚類)	シラガゴケ科	アラハシラガゴケ	<i>Leucobryum bowringii</i>	B		
8	B	↓	蘚苔類(苔類)	ウキゴケ科	イチョウウキゴケ	<i>Ricciolepis natans</i>	A	NT	DD
9	B		蘚苔類(蘚類)	アオギヌゴケ科	エゾヤノネゴケ	<i>Bryhnia tokubuchii</i>	B		
10	C		蘚苔類(蘚類)	シッポゴケ科	ホウライオバナゴケ	<i>Dicranella coarctata</i>	C		NT
11	C		蘚苔類(蘚類)	センボンゴケ科	ナガバヒョウタンゴケ	<i>Chenia rhizophylla</i>	C		
12	C	追加	蘚苔類(蘚類)	アブラゴケ科	ツガゴケ	<i>Distichophyllum maibarae</i>			NT
13	C		蘚苔類(蘚類)	ツヤゴケ科	ホソミツヤゴケ	<i>Entodon sullivantii</i>	C		
14	C		蘚苔類(蘚類)	ハイゴケ科	ヤマハイゴケ	<i>Hypnum subimponens</i>	C		
15	C		蘚苔類(苔類)	ウロコゼニゴケ科	ウロコゼニゴケ	<i>Fossombronina foveolata</i>	C		NT

淡水藻類

No.	カテ ゴリー	前回からの 変更内容	綱名	科名	種名	学名	旧カテ ゴリー	環境省 RL	大阪府 RL
1	A		車軸藻綱	シャジクモ科	オウシャジクモ	<i>Chara braunii</i>	A		CR+EN
2	A		車軸藻綱	シャジクモ科	ジュスフラスコモ	<i>Nitella axillaries</i>	A		CR+EN
3	A		車軸藻綱	シャジクモ科	モリオカフラスコモ	<i>Nitella moriokae</i>	A		CR+EN
4	B		車軸藻綱	シャジクモ科	シャジクモ	<i>Chara corallina</i>	B		VU



注) 上段写真：レッドリスト掲載種 下段写真：外来種アラートリスト掲載種

菌類

No.	カテ ゴリー	前回からの 変更内容	目名	科名	種名	学名	旧カテ ゴリー	環境省 RL	大阪府 RL
1	A		ハラタケ目	キシメジ科	シモコシ	<i>Tricholoma auratum</i>	A	NT	VU
2	A		ハラタケ目	キシメジ科	マツタケ	<i>Tricholoma matsutake</i>	A	NT	VU
3	B		ハラタケ目	ナヨタケ科	ヤケノヒトヨタケ	<i>Coprinellus angulatus</i>	B		VU
4	B		ハラタケ目	ナヨタケ科	クロヒメオニタケ	<i>Cystoagaricus strobilomyces</i>	B		
5	B	↓	イグチ目	シウロ科	シウロ	<i>Rhizopogon roseolus</i>	A		VU
6	C		ハラタケ目	ハラタケ科	スジチャダイゴケ	<i>Cyathus striatus</i>	C		NT
7	C		ハラタケ目	テングタケ科	オオオニテングタケ	<i>Amanita grandicarpa</i>	C		
8	C		ハラタケ目	テングタケ科	カブラテングタケ	<i>Amanita gymnopus</i>	C		NT
9	C		ハラタケ目	ウラベニガサ科	ヒメフクロタケ*	<i>Volvariella pusilla</i>	C		NT
10	C		ハラタケ目	ナヨタケ科	パフンヒトヨタケ	<i>Coprinopsis tuberosa</i>	C		
11	C	追加	イグチ目	イグチ科	オオヤシャイグチ	<i>Austroboletus subvirens</i>			NT
12	C		イグチ目	イグチ科	ヤマナラシノアオネノヤマイグチ	<i>Leccinum duriusculum</i>	C		
13	C		イグチ目	イグチ科	オクヤマニガイグチ	<i>Tylopilus rigens</i>	C		
14	C		ラッパタケ目	ラッパタケ科	ウスタケ	<i>Turbinellus floccosus</i>	C		NT
15	C	↑	スッポンタケ目	ツマミタケ科	イカタケ	<i>Lysurus arachnoideus</i>	情報不足		VU
16	C		ベニタケ目	ベニタケ科	ハツタケ	<i>Lactarius lividatus</i>	C		NT
17	C		ヒョウタケ目	キンカクキン科	ドングリキンカクキン	<i>Ciboria batschiana</i>	C		
18	情報不足		ハラタケ目	ハラタケ科	オオノウタケ	<i>Calvatia boninensis</i>	情報不足		
19	情報不足		ハラタケ目	キシメジ科	キシメジ	<i>Tricholoma flavovirens</i>	情報不足		
20	情報不足		ベニタケ目	マツカサタケ科	マツカサタケ	<i>Auriscalpium vulgare</i>	情報不足		DD
21	情報不足		ベニタケ目	ベニタケ科	アカモミタケ	<i>Lactarius laeticolor</i>	情報不足		NT
22	情報不足		イボタケ目	マツバハリタケ科	クロカワ	<i>Boletopsis grisea</i>	情報不足	DD	
23	情報不足		イボタケ目	マツバハリタケ科	コウタケ	<i>Sarcodon aspratus</i>	情報不足		
24	情報不足		ニクザキン目	バツカクキン科	クモタケ	<i>Nomuraea atypicola</i>	情報不足		DD

* 2015年版から種名の変更があったもの：シロヒメフクロタケ→ヒメフクロタケ

堺市外来種アラートリスト 2021

哺乳類

No.	カテ ゴリー	前回からの 変更内容	目名	科名	種名	学名	旧カテ ゴリー	外来 生物法
1	重点対策		ネズミ目	ヌートリア科	ヌートリア	<i>Myocastor coypus</i>	重点対策	特定
2	重点対策		ネコ目	アライグマ科	アライグマ	<i>Procyon lotor</i>	重点対策	特定
3	重点対策		ネコ目	イタチ科	チョウセンイタチ	<i>Mustela sibirica coreana</i>	重点対策	
4	要注意		ネズミ目	ネズミ科	ハツカネズミ	<i>Mus musculus</i>	要注意	
5	要注意		ネズミ目	ネズミ科	クマネズミ	<i>Rattus rattus</i>	要注意	
6	要注意		ネズミ目	ネズミ科	ドブネズミ	<i>Rattus norvegicus</i>	要注意	
7	要注意	追加	ネコ目	ジャコウネコ科	ハクビシン	<i>Paguma larvata</i>		
8	要侵入警戒		ネズミ目	リス科	クリハラリス	<i>Callosciurus erythraeus</i>	要侵入警戒	特定

鳥類

No.	カテ ゴリー	前回からの 変更内容	目名	科名	種名	学名	旧カテ ゴリー	外来 生物法
1	重点対策	↑	カモ目	カモ科	コブハクチョウ	<i>Cygnus olor</i>	要注意	
2	重点対策	↑	カモ目	カモ科	アイガモ・アヒル	<i>Anas platyrhynchos var. domesticus</i>	要注意	
3	重点対策	↑	スズメ目	チメドリ科	ソウシチョウ	<i>Leiothrix leutea</i>	要侵入警戒	特定
4	要注意		キジ目	キジ科	コジュケイ	<i>Bambusicola thoracicus</i>	要注意	
5	要注意		ハト目	ハト科	カワラバト	<i>Columba livia</i>	要注意	
6	要注意		チドリ目	セイタカシギ科	クロエリセイタカシギ	<i>Himantopus mexicanus</i>	要注意	

爬虫類

No.	カテ ゴリー	前回からの 変更内容	目名	科名	種名	学名	旧カテ ゴリー	外来 生物法
1	重点対策		カメ目	ヌマガメ科	ミシシippアカミミガメ	<i>Trachemys scripta elegans</i>	重点対策	
2	要侵入警戒		カメ目	カミツキガメ科	カミツキガメ	<i>Chelydra serpentina</i>	要侵入警戒	特定
3	要侵入警戒		カメ目	カミツキガメ科	ワニガメ	<i>Macrochelys temminckii</i>	要侵入警戒	

注) カミツキガメ、ワニガメは大阪府での繁殖は確認されていないが、侵入の可能性と影響の程度を勘案して要侵入警戒種とした。

両生類

No.	カテ ゴリー	前回からの 変更内容	目名	科名	種名	学名	旧カテ ゴリー	外来 生物法
1	重点対策	追加	無尾目	ヒバ科	アフリカツメガエル	<i>Xenopus laevis</i>		
2	重点対策		無尾目	アカガエル科	ウシガエル	<i>Lithobates catesbeianus</i>	重点対策	特定

淡水魚類

No.	カテ ゴリー	前回からの 変更内容	目名	科名	種名	学名	旧カテ ゴリー	外来 生物法
1	重点対策		カダヤシ目	カダヤシ科	カダヤシ	<i>Gambusia affinis</i>	重点対策	特定
2	重点対策		スズキ目	サンフィッシュ科	ブルーギル	<i>Lepomis macrochirus macrochirus</i>	重点対策	特定
3	重点対策		スズキ目	サンフィッシュ科	オオクチバス	<i>Micropterus salmoides</i>	重点対策	特定
4	要注意		レビソステウス目	レビソステウス科	アリゲーターガー	<i>Atractosteus spatula</i>	要注意	特定
5	要注意		コイ目	コイ科	コイ (外来型)	<i>Cyprinus carpio</i>	要注意	
6	要注意		コイ目	コイ科	タイリクバラタナゴ	<i>Rhodeus ocellatus ocellatus</i>	要注意	
7	要注意		タウナギ目	タウナギ科	タウナギ (本土産)	<i>Monopterus albus</i>	要注意	
8	要注意		カダヤシ目	カダヤシ科	グッピー	<i>Poecilia reticulata</i>	要注意	
9	要注意		スズキ目	タイワンドジョウ科	カムルチー	<i>Channa argus</i>	要注意	
10	要侵入警戒		コイ目	ドジョウ科	カラドジョウ	<i>Misgurnus dabryanus</i>	要侵入警戒	
11	要侵入警戒	追加	ナマズ目	アメリカナマズ科	チャネルキャットフィッシュ	<i>Ictalurus punctatus</i>		特定
12	要侵入警戒		スズキ目	スズキ科	タイリクスズキ	<i>Lateolabrax maculatus</i>	要侵入警戒	
13	要侵入警戒		スズキ目	サンフィッシュ科	コクチバス	<i>Micropterus dolomieu dolomieu</i>	要侵入警戒	特定
14	要侵入警戒		スズキ目	カワスズメ科	ナイルティラピア	<i>Oreochromis niloticus</i>	要侵入警戒	

陸産・淡水産貝類

No.	カテ ゴリー	前回からの 変更内容	綱名	目名	科名	種名	学名	旧カテ ゴリー	外来 生物法
1	重点対策		腹足綱	ニシキウス目	リングガイ科	スクミリングガイ	<i>Pomacea canaliculata</i>	重点対策	
2	重点対策	↑	腹足綱	柄眼目	アフリカマイマイ科	オオクビケレイ	<i>Rumina decorata</i>	要注意	
3	重点対策		二枚貝綱	マルスダレガイ目	シジミ科	タイワンシジミ	<i>Corbicula fluminea</i>	重点対策	
4	要侵入警戒	追加	腹足綱	柄眼目	エスカルゴ科	ヒメリングマイマイ	<i>Helix aspersa</i>	要侵入警戒	
5	要侵入警戒	追加	二枚貝綱	イガイ目	イガイ科	カワヒバリガイ	<i>Limnoperna fortunei</i>	要侵入警戒	特定

昆虫類

No.	カテ ゴリー	前回からの 変更内容	目名	科名	種名	学名	旧カテ ゴリー	外来 生物法
1	重点対策	追加	コウチュウ目	カミキリムシ科	クビアカツヤカミキリ	<i>Aromia bungii</i>		特定
2	重点対策	↑	ハチ目	アリ科	アルゼンチンアリ	<i>Linepithema humile</i>	要侵入警戒	特定
3	要注意		ゴキブリ目	ゴキブリ科	コワモンゴキブリ	<i>Periplaneta australasiae</i>	要注意	
4	要注意		バッタ目	オンブバッタ科	アカハネオンブバッタ	<i>Atractomorpha sinensis</i>	要注意	
5	要注意	追加	カメムシ目	カスミカメムシ科	クスベニヒラタカスミカメ	<i>Mansoniella cinnamomi</i>		
6	要注意	追加	カメムシ目	ヘリカメムシ科	マツヘリカメムシ	<i>Leptoglossus occidentalis</i>		
7	要注意		チョウ目	カレハガ科	ムラクモカレハ	<i>Lebeda nobilis</i>	要注意	
8	要注意	追加	ハチ目	ミツバチ科	タイワンタケクマバチ	<i>Xylocopa tranquebarorum</i>		
9	要侵入警戒	追加	カマキリ目	カマキリ科	ムネアカハラビロカマキリ	<i>Hierodula sp.</i>		
10	要侵入警戒	追加	チョウ目	タテハチョウ科	アカボシゴマダラ	<i>Hestina assimilis assimilis</i>		特定
11	要侵入警戒	追加	ハチ目	アリ科	ハヤトゲフシアリ	<i>Lepisiota frauenfeldi</i>		特定
12	要侵入警戒	追加	ハチ目	アリ科	アカカミアリ	<i>Solenopsis geminata</i>		特定
13	要侵入警戒	追加	ハチ目	アリ科	ヒアリ	<i>Solenopsis invicta</i>		特定
14	要侵入警戒		ハチ目	ミツバチ科	セイヨウオオマルハナバチ	<i>Bombus terrestris</i>	要侵入警戒	特定

クモ類

No.	カテ ゴリー	前回からの 変更内容	目名	科名	種名	学名	旧カテ ゴリー	外来 生物法
1	重点対策		クモ目	ヒメグモ科	セアカゴケグモ	<i>Latrodectus hasselti</i>	重点対策	特定
2	要注意		クモ目	ウシオグモ科	クロガケジグモ	<i>Badumna insignis</i>	要注意	
3	要侵入警戒		クモ目	ヒメグモ科	ハイイロゴケグモ	<i>Latrodectus geometricus</i>	要侵入警戒	特定

陸産・淡水産甲殻類

No.	カテ ゴリー	前回からの 変更内容	綱名	目名	科名	種名	学名	旧カテ ゴリー	外来 生物法
1	重点対策		軟甲綱	エビ目	アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i>	重点対策	
2	要注意	追加	軟甲綱	エビ目	ヌマエビ科	カワリヌマエビ属	<i>Neocaridina spp.</i>		
3	要注意	追加	軟甲綱	エビ目	テナガエビ科	チュウゴクスジエビ	<i>Palaemon sinensis</i>		
4	要侵入警戒	追加	軟甲綱	エビ目	ザリガニ科	ザリガニ科の全種	<i>Astacidae spp.</i>		特定
5	要侵入警戒	追加	軟甲綱	エビ目	アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ科の全種 (アメリカザリガニを除く)	<i>Cambaridae spp.</i>		特定
6	要侵入警戒	追加	軟甲綱	エビ目	アジアザリガニ科	アジアザリガニ科の全種	<i>Cambaroididae spp.</i>		特定*
7	要侵入警戒	追加	軟甲綱	エビ目	ミナミザリガニ科	ミナミザリガニ科の全種	<i>Parastacidae spp.</i>		特定

注) ザリガニ科の全種、アメリカザリガニ科の全種 (アメリカザリガニを除く)、アジアザリガニ科の全種、ミナミザリガニ科の全種は、大阪府での定着は確認されていないが、侵入の可能性と影響の程度を勘案して要侵入警戒種とした。

*ニホンザリガニを除く

海岸生物

No.	カテ ゴリー	分類	綱名	目名	科名	種名	学名	外来 生物法
1	要注意	貝類	二枚貝綱	マルスダレガイ目	マルスダレガイ科	ホンビノスガイ	<i>Mercenaria mercenaria</i>	

維管束植物

No.	カテゴリー	前回からの 変更内容	科名	種名	学名	旧カテゴリー	外来 生物法	対策が必要な生態系				人への 影響
								森林	水辺	堤防 河川敷	農耕地	
1	重点対策		サンショウモ科	外来アゾラ類*1	<i>Azolla</i> spp.	重点対策	特定		○			
2	重点対策		イネ科	カモガヤ	<i>Dactylis glomerata</i>	重点対策						2
3	重点対策		アリノトウグサ科	オオフサモ	<i>Myriophyllum aquaticum</i>	重点対策	特定		○			
4	重点対策		マメ科	ハリエンジュ	<i>Robinia pseudoacacia</i>	重点対策				○		
5	重点対策		ウリ科	アレチウリ	<i>Sicyos angulatus</i>	重点対策	特定			○		
6	重点対策	追加	アカバナ科	オオバナミズキンバイ広義	<i>Ludwigia grandiflora</i>		特定		○			
7	重点対策		オオバコ科	オオカワヂシャ	<i>Veronica anagallis-aquatica</i>	重点対策	特定		○			
8	重点対策		クマツヅラ科	シチヘンゲ	<i>Lantana camara</i>	重点対策				○		
9	重点対策		キク科	アメリカオニアザミ	<i>Cirsium vulgare</i>	重点対策						3
10	重点対策		キク科	オオキンケイギク	<i>Coreopsis lanceolata</i>	重点対策	特定			○		
11	重点対策		キク科	ナルトサワギク	<i>Senecio madagascariensis</i>	重点対策	特定			○		
12	要注意		トチカガミ科	オオカナダモ	<i>Egeria densa</i>	要注意			○			
13	要注意		トチカガミ科	コカナダモ	<i>Elodea nuttallii</i>	要注意			○			
14	要注意	追加	アヤメ科	ヒメヒオウギスイセン	<i>Crocodylia × crocosmiiflora</i>			○				
15	要注意		アヤメ科	キシヨウブ	<i>Iris pseudacorus</i>	要注意			○			
16	要注意	追加	ヒガンバナ科	ハタケニラ	<i>Nothoscordum gracile</i>						○	
17	要注意	追加	ツククサ科	マルバツククサ	<i>Commelina benghalensis</i>						○	
18	要注意	追加	ツククサ科	ノハカタカラクサ	<i>Tradescantia fluminensis</i>			○		○		
19	要注意		ミズアオイ科	ホテイアオイ	<i>Eichhornia crassipes</i>	要注意			○			
20	要注意	追加	イグサ科	コゴメイ	<i>Juncus polyanthemus</i>					○		
21	要注意	追加	カヤツリグサ科	メリケンガヤツリ	<i>Cyperus eragrostis</i>				○			
22	要注意		イネ科	シナダレスズメガヤ	<i>Eragrostis curvula</i>	要注意				○		
23	要注意		イネ科	ネズミムギ属(ライグラス類)*2,6	<i>Lolium</i> spp.	要注意				○		2
24	要注意		イネ科	タチスズメノヒエ	<i>Paspalum urvillei</i>	要注意				○		
25	要注意	追加	イネ科	モウソウチク	<i>Phyllostachys edulis</i>			○				
26	要注意		イネ科	オニウシノケグサ	<i>Schedonorus phoenix</i>	要注意				○		
27	要注意		イネ科	セイバンモロコシ	<i>Sorghum halepense</i>	要注意				○		
28	要注意	追加	キンボウゲ科	ククザキリュウキンカ	<i>Ficaria verna</i>					○		
29	要注意	追加	マメ科	アレチヌスビトハギ	<i>Desmodium paniculatum</i>							4
30	要注意		マメ科	ナヨクサフジ	<i>Vicia villosa</i> subsp. <i>varia</i>	要注意				○	○	
31	要注意	追加	カタバミ科	オオキバナカタバミ	<i>Oxalis pes-caprae</i>					○	○	
32	要注意	追加	アブラナ科	カラシナ	<i>Brassica juncea</i>					○	○	
33	要注意	追加	アブラナ科	オランダガラシ	<i>Nasturtium officinale</i>				○			
34	要注意		タデ科	エソノギシギシ	<i>Rumex obtusifolius</i>	要注意				○		
35	要注意		ヒユ科	ハリビユ	<i>Amaranthus spinosus</i>	要注意				○		3
36	要注意	追加	キョウチクトウ科	ツルニチニチソウ	<i>Vinca major</i>			○				
37	要注意	追加	ヒルガオ科	外来アサガオ類*3	<i>Ipomoea</i> spp.					○	○	
38	要注意		ナス科	チョウセンアサガオ属*4	<i>Datura</i> spp.	要注意						1
39	要注意		ナス科	ワルナスビ	<i>Solanum carolinense</i>	要注意				○		3
40	要注意		モクセイ科	トウネズミモチ	<i>Ligustrum lucidum</i>	要注意		○		○		
41	要注意	追加	キツネノマゴ科	ヤナギバルレイラソウ	<i>Ruellia simplex</i>					○		
42	要注意		キク科	ブタクサ	<i>Ambrosia artemisiifolia</i>	要注意						2
43	要注意		キク科	オオブタクサ	<i>Ambrosia trifida</i>	要注意				○		2
44	要注意	追加	キク科	セイタカアワダチソウ	<i>Solidago altissima</i>				○			
45	要注意		キク科	メリケントキンソウ	<i>Soliva sessilis</i>	要注意						3
46	要侵入警戒	追加	ヒガンバナ科	サンカクニラ	<i>Allium triquetrum</i>						○	
47	要侵入警戒	追加	ツククサ科	カロライナツククサ	<i>Commelina caroliniana</i>					○	○	
48	要侵入警戒	追加	ツククサ科	シマツククサ	<i>Commelina diffusa</i>					○	○	
49	要侵入警戒	追加	イネ科	ヨシススキ	<i>Saccharum arundinaceum</i>			○				
50	要侵入警戒	追加	イネ科	ヒガタアシ	<i>Spartina alterniflora</i>		特定		○*5			
51	要侵入警戒	追加	ヒユ科	ナガエツルノゲイトウ	<i>Alternanthera philoxeroides</i>		特定		○	○		
52	要侵入警戒	追加	セリ科	ドクニンジン	<i>Conium maculatum</i>					○		1

注 1) 人への影響の番号は以下の影響を指す 1: 中毒 2: アレルギー 3: 傷害 4: 不快

注 2) サンカクニラ、ヒガタアシ、ドクニンジンは、大阪府での定着は確認されていないが、侵入の可能性と影響の程度を勘案して要侵入警戒種とした。

*1) ニシノオアサガオ、アイオアサガオを含む *2) ネズミムギ、ホソムギ、ドクムギ、ネズミホソムギ、ボウムギを含む

*3) マルバアメリカアサガオ、ノアサガオ、マメアサガオ、ホシアサガオを含む *4) チョウセンアサガオ、ケチウセンアサガオ、ヨウシユチウセンアサガオを含む

*5) 河口のみ *6) 2015年版から種名の変更があったもの ドクムギ属→ネズミムギ属

■前回からの変更内容

追加: 堺市外来種ブラックリスト 2015年版 から新たに追加された種 ↑: 堺市外来種ブラックリスト 2015年版からランクが上がった種

↓: 堺市外来種ブラックリスト 2015年版からランクが下がった種 除外: 堺市外来種ブラックリスト 2015年版から除外した種

■外来生物法のカテゴリー略称 特定: 特定外来生物

写真提供

石田惣(大阪市立自然史博物館): オオクビキレガイ 稗田真也(豊橋市自然史博物館): オオバナミズキンバイ 植村修二(近畿植物同好会): マメアサガオ、マルバアメリカアサガオ 麻生泉(有限会社緑空間計画): シノブ 鈴木真裕(大阪府立大学大学院/滋賀県立琵琶湖博物館): マダラコガシラミズムシ 原口みく(大阪府立大学大学院): オオムラサキ 谷勝行: イカタケ、イチヨウウキゴケ、オオミクリ、キキョウ、キンラン、シャジクモ、シュレーゲルアオガエル、トノサマガエル、ヒミズ、ヒメタゴマイマイ、ヤマトサンショウウオ、フレモコウ 徳原一浩: サワガニ、セスジイトトンボ、セトウチホトトギス、タマシ、ニホンイシガメ、ミナミメダカ 西山有二: サンショウクイ 野村泰助: クビアカツヤカミキリ 前田義昭: キマダラセセリ、セッカ、ヒクイナ、ベニイトトンボ 飯田一令*: ヒメミズワラビ、ミスオトギリ、ヨシススキ、張芝 石山麻子*: アゼオトギリ、アレチヌスビトハギ、オオバナミズキンバイ生育状況、モウソウチク 上田達也*: アキアカネ、クサガメ、ナツアカネ 上村晋平*: アヤメ、ナルトサワギク、ハタケニラ 金生清翔*: ネコ 熊走彰記*: タシロラン 中島拓*: カジカガエル、ヌートリア、マツハリカメムシ 前田武志*: アキアカネ、アフリカツメガエル、カヤネズミ巢、コウベモグラ塚、ハクビシン 松井敬子*: セイバンモロコシ 見瀬浩子*: アメリカザリガニ、アライグマ、コバクチョウ、ススキ、タイリクバラタナゴ、ドジョウ 吉川裕章*: ネコ *: 地域環境計画



堺市の生物多様性保全上考慮すべき野生生物

堺市レッドリスト 2021・堺市外来種アラートリスト 2021 ガイドブック

編集発行 / 堺市環境局 環境保全部 環境共生課

〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号

電話：072-228-7440 FAX：072-228-7317

E-mail：kankyo@city.sakai.lg.jp

堺市配架資料番号：1-I1-21-0034

リサイクル適性 A

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。



この印刷物は環境に優しい
植物油インキを使用しています。